東北大学 まなび情報誌

まなぶひと

TAKE FREE

2018.12 月号

Vol.45

学ぶひととき、
学ぶひとたち
を応援します。

―天は東北、志尚く―

東北大学関連イベント・インフォメーション

東北大学　まなび情報誌

まなぶひと

2018
12月号
Vol. 045

■ごあいさつ

―東北大学　まなび情報誌「まなぶひと」―

大学は学生や研究者のためのもの、と思ってはいませんか？実はそうでもありません。東北大学は、さまざまな分野での研究成果や保有する資産・空間を、地域のみなさまと広く共有したいと考えています。

そこで生まれたのが、この「まなぶひと」。

東北大学が実施しているさまざまな公開講座、講演会、コンサート、企画展や公開施設など、地域のみなさまに広くご参加、ご来場いただきたいイベント情報等をお届けいたします。

「まなび」を愛するみなさまの「まなぶひととき」にお役立ていただければ、幸いです。

■もくじ

1.　ごあいさつ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

2.　社会のなかの東北大学　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

3.　特集　附属図書館所蔵西洋古典　・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

4.　イベントカレンダー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

5.　イベント詳細情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

6.　一般公開施設一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

7.　キャンパスマップ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

表紙：尚志像と史料館

社会（ちいき）に活きる東北大学

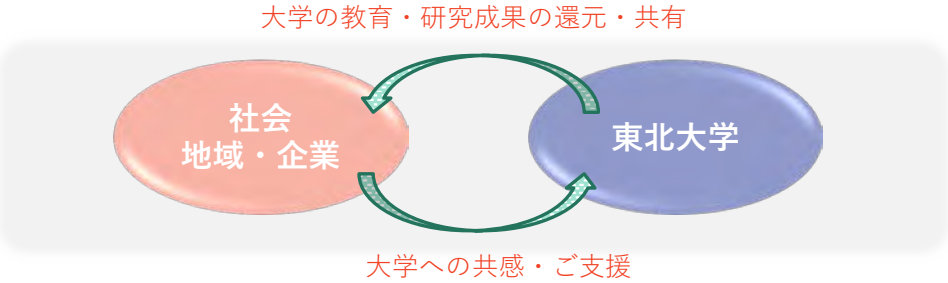
■暮らしに息づく、身近な東北大学を目指して。

大学の使命はまず、教育・研究を通じて社会に有意な人材を輩出し、最新の研究成果を生み出していくことですが、もう一つ、大切な使命があります。それは地域社会との連携です。

東北大学は日本を代表する大学であるべきと同時に、東北、宮城、そして仙台に深く根付いた、地域のみなさまに身近な大学でなければなりません。

実践的なフィールドワーク、社会のニーズに応じたテーマの研究、また様々な文化事業などの社会連携活動を積極的に推進し、地域のみなさまに寄り添い、ご支援をいただけるよう努めていきたいと考えています。

みなさまの暮らしの中でともに歩み続ける東北大学に、どうぞご期待ください。



■東北大学における主な社会連携事業

公開講座・講演会

- 市民のためのサイエンス講座
- 東北大学レクチャーシリーズ
- サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

地域連携

- 中高校生職場体験、学校訪問
- 仙台七夕花火祭
- アカデミックツーリズム

文化事業

- 川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム
- かたひらロビーミニコンサート
- 歴史的資産の保存・公開　等

コンベンションの推進

- コンベンション誘致に関する窓口の設置
- コンベンション開催、学校等主催行事への供与
- 百周年記念会館川内萩ホールの運営

出前授業

- 減災ポケット「結」プロジェクト
- 楽しい理科の話
- サイエンスデイ

施設公開

- 東北大学史料館
- 総合学術博物館・理学部自然史標本館
- 東北大学植物園
- 東北大学附属図書館

東北大学をもっと身近に。もっとおトクに。萩友会（しゅうゆうかい）。

萩友会はどなたでもご入会いただけます。大学を楽しむプレミアムなパスポート、ゲットしませんか？

【会費】プレミアム会員：1,000 円/年　永年会員：50,000 円

【特典例】総合学術博物館・植物園入場無料、川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム割引優待、講演会のご案内など。目印⇒⇒

しゅうゆうかい　検索

東北大学萩友会　TEL:022-217-5059

―天は東北、志尚（たか）く―

1887（明治20）年、全国5つの「高等学校」の一つとして設置され、のちに東北大学に包摂された旧制第二高等学校。自由と自治を重んじ「雄大剛健」の校風で知られた旧制二高では、生徒たちや教授陣により実に生き生きと色鮮やかな学校生活が繰り広げられていました。そんな二高の歴史と文化の一端を紹介する企画展が、東北大学史料館で開催されています。

左：1946（昭和21）年12月、寮祭の日の二高生。背後に見えるのは蜂をあしらった寮祭のアーチ。上：1945（昭和20）年、二高自動車部が購入した「いすず」が届いたときの記念撮影。

～尚志像と蜂章裏話～

元は旧制二高の校庭だった片平キャンパスの中庭に建つ「尚志像（写真左）」は、旧制二高が百周年を迎えた1986年、宮城県出身の彫刻家佐藤忠良により制作されました。「尚志」とは『孟子』から取られた二高校友会の名前。旧制高校というと「蛮カラ」のイメージが強いですが、それは昭和に入ってから。明治大正期の二高生像をも併せて表現するのには苦労したようです。

二高の校章であった「蜂章」ですが、実は物によって蜂のデザインはさまざま。蜂の意味は「働き蜂のごとく勤勉に」とも。

最後の卒業生により寄贈されたバックル、ボタンに帽章など。

【土井林吉（晩翠）。1924 年頃】

【五色沼での二高アイスホッケーチーム】

時は明治。近代の学校教育の礎が着々と整えられていった時代。市民の多くは尋常小学校や高等小学校を卒業した後は働くのが一般的で、高等学校、そして大学へと進学するのは本当にごく一握りのエリートだけでした。

最高学府である大学への進学や医師の養成を目的とした二高の授業で特に重視されたのは、その後の専門的な学問に取り組むための素養となる外国語。名物教授と言われた粟野健次郎や土井林吉（晩翠）も英語の教鞭をとっていました。

部活動もまた非常に活発で、生徒の人間形成において重要な役割を果たす学校行事と考えられ、野球やテニス、スケートなどの近代スポーツも外国人教師を介して伝わりました。二高のスケート部が使用した現在の仙台市博物館前の五色沼は、日本におけるスケート発祥の地でもあります。

二高の校風は「雄大剛健」として知られていますが、それを樹立したといわれる人物が第五代校長で倫理学者であった三好愛吉です。彼は二高の寄宿舎「明善寮」の隣に住み、その住居は寮生から丸見えでしたが、「私の生活の総てが教育です」というほど、芯からの教育者でした。

広々とした野に出た時に感じるような闊達な心や、都会にはない東北の厳しい自然の重厚さ、そして逆境に堪える剛健さを美風として語り、それに感化される形で「雄大剛健」の学風が確立されていったといいます。

昭和初期に「弊衣破帽」の「蛮カラ」スタイルが流行したもの「外見に惑わされない」という二高精神の表れのひとつ。

学風とは何なのか。時を超え継承された精神とはどのようなものだったのか。目に見えないけれど確かにそこに存在した「尚志」の心を映す品々が、今に伝えられています。

右：三好愛吉（1870-1919）の肖像。当時野球は舶来の”狡賢い”スポーツとして嫌厭されていたが、三好はその戦略的要素が教育につながるとして擁護していたという。今に伝わる試合開始前の”礼”は、その狡さを薄めるために三吉が導入したもの。左：野球部の練習風景。1914（大正 3）年頃。

東北大学史料館企画展
「蛮カラ学生の学び舎～旧制二高とキャンパスの変遷～」

無料・予約不要

【開催期間】～ 12 月 14 日（金）まで　【休館日】土日祝（12/2 は開館）
【開催時間】10:00 ～ 17:00（土日祝は 16:30 まで）
【会場】東北大学史料館 2 階展示室
【問い合わせ】東北大学史料館　TEL:022-217-5040

詳しくは 2 の
チラシをご覧ください。

［東北大学史料館キャラクター　ふみくん］

Event Calendar

2018.11.15 ～ 2019.1　東北大学関連　イベントカレンダー

区分	開催日	イベント名	会　場	時　間	問合わせ先・その他
MOOC【開講中/受付中】	講座ごと	1 東北大学 MOOC 無料オンライン講座	オンライン（一部対面学習あり）	随時	東北大学オープンオンライン教育開発推進センター web 申込
企画展【申込不要】	9/28(金)-12/14(金)	2 史料館企画展「蛮カラ学生の学び舎～旧制二高とキャンパスの変遷～」	東北大学史料館 2 階展示室 ■片平キャンパス	[平日] 10:00-17:00 土日祝休館 12/2(日)は開館 (16:30 まで)	東北大学史料館 TEL:022-217-5040 無料
企画展【申込不要】 萩友会優待特典	10/2(火)-11/25(日)	3 生命科学研究科・総合学術博物館共同小企画展「もっとしりたい日本とキューバのコウモリ」	総合学術博物館 ■青葉山キャンパス	10:00-16:00 [休館日] 月曜	総合学術博物館 TEL:022-795-6767 入館料:大人 150 円, 小人 80 円 ※萩友会プレミアム会員入館無料
企画展【申込不要】	10/30(火)-3/3(日)	4 国立科学博物館特別展「明治 150 年記念　日本を変えた千の技術博」	国立科学博物館（東京・上野公園）	9:00-17:00 [休館日] 月曜(休祝日を除く), 12/28-1/1, 1/15,2/12	国立科学博物館 TEL:03-5777-8600 入場料:一般・大学生 1,600 円, 小中高生 600 円, 金土曜限定ペア得ナイト券 2 名 1 組 2,000 円
フォトコンテスト【募集中】	10/31(水)-1/31(木)	5 東北大学 112 周年フォトコンテスト（秋-冬）「あなたが世界に紹介したい・自慢したいもの」	【募集カテゴリ】 A:東北大学の風景・建物 B:研究・教育・サークル活動 C:宮城の自然・暮らし・伝統・文化・名産品		広報室フォトコンテスト係 photo_contest@grp.tohoku.ac.jp メール申込/詳細は募集要項を確認のこと
企画展【申込不要】	11/1(木)-11/18(日)	6 平成 30 年度附属図書館企画展「西洋古典への扉」	[展示]附属図書館本館 1 号館多目的室 [記念講演会] 附属図書館本館 1 階フレキシブルワークエリア ■川内キャンパス	[展示]10:00-17:00 [記念講演会] 11/14(水) 13:00 開場 13:30 開演	東北大学附属図書館 TEL:022-795-5911 無料
企画展【申込不要】 萩友会優待特典	11/1(木)-11/18(日)	7 総合学術博物館・北青葉山分館連携 mini 展示「黎明の自然科学」	理学部自然史標本館 ■青葉山キャンパス	10:00-16:00 月曜休館	総合学術博物館 TEL:022-795-6767 入館料:大人 150 円,小人 80 円 ※萩友会プレミアム会員入館無料
公開講座【申込不要】	11/16(金)	8 第 21 回学際科学フロンティア研究所セミナー「2018 年猛暑は海水温異変が原因？ ― 平成最後の夏から読み解く異常気象と温暖化 ―」	学際科学フロンティア研究所 1 階大セミナー室 ■青葉山キャンパス	13:00-14:30	学際科学フロンティア研究所 企画部 當真 kikaku@fris.tohoku.ac.jp 無料
公開講座【申込不要】	11/16(金)	9 第 158 回サイエンスカフェ「合成フェロモンを使って害虫防除」	青葉山コモンズ 1 F ラーニング・コモンズ ■青葉山キャンパス	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進係 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象

詳細は P12 からの詳細情報、同じ番号のチラシをご覧ください。

区分	開催日	イベント名	会　場	時　間	問合わせ先・その他
公開講座 【申込不要】	11/17(土)	10 第 26 回防災文化講演会 「復興まちづくりとこれから」	気仙沼市役所 ワンテン庁舎 大ホール	13:00-15:00 12:30 開場	災害科学国際研究所 気仙沼分室(熊谷成一) TEL:0226-23-7441 無料
フィールドワーク 【募集中】 萩友会優待特典	11/18(日)	11 植物園ガイドウォーク	東北大学植物園 ■川内キャンパス	10:00-12:00	東北大学植物園 TEL:022-795-6760 無料/TEL,窓口申込 受付:11/4～ ※萩友会プレミアム会員入園無料
公開講座 【申込不要】	11/18(日)	12 科学で東北を盛り上げ隊！ @石巻	こもれびの降る丘 遊楽館 （石巻市北村字前山 15-1）	10:00-15:00	やまがた『科学の花咲く』プロジェクト 事務局(山形大学 SCITA センター内) TEL:023-628-4506 無料
公開講座 【募集中】	11/21(水)	13 ものづくり基礎講座 （第 57 回技術セミナー） 「金属ガラスに関する公開講座」	兵庫県立工業技術センター 技術交流館 2F　セミナー室 （神戸市須磨区行平町 3-1-12）	13:20-17:30	金属材料研究所附属産学官広域連携センター兵庫オフィス TEL:079-260-7209 無料/定員:30 名程度(実習:10 名程度) FAX,メール申込
公開講座 【募集中】	11/23(金・祝)	14 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会市民公開フォーラム「むし歯と歯周病-予防と治療の最前線」	片平さくらホール ■片平キャンパス	13:30-16:00 13:00-受付	歯学研究科歯内歯周治療学分野 市民フォーラム事務局 helloendperio@grp.tohoku.ac.jp 無料/先着 150 名 FAX,メール申込/締切:11/20
公開講座 【募集中】	11/24(土)	15 第 5 回心臓移植市民公開講座 「大切な人のために今知っておきたい最新治療」	仙台市中小企業活性化センター （仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 5 階）	14:00-16:00 13:30-受付	第 5 回心臓移植市民公開講座運営事務局 snimin-shinzou@convention.co.jp 無料/定員 500 名/web 申込
公開講座 【申込不要】	11/24(土)	16 第 3 回公開講演会 「イスラーム学際研究の試み～東南アジアと日本のムスリムの視点から～」	マルチメディア教育研究棟 6 階大ホール ■川内キャンパス	14:00-16:30	国際文化研究科 アジア・アフリカ研究講座 「イスラム圏研究会」事務局 islamken2017@gmail.com
公開講座 【募集中】	11/29(木)	17 東北大学 電気・情報 仙台フォーラム 2018 「安全・安心な IoT 社会を実現するセキュリティ技術」	仙台国際ホテル （仙台市青葉区中央 4-6-1）	14:00-19:00 13:30-受付	電気通信研究所 研究協力係 TEL:022-217-5422 講演会・授賞式:無料 web,FAX 申込 締切:11/19
公開講座 【申込不要】	11/30(金)	18 美食のヨーロッパ文化学 [第 4 回]「ワイン市場とワイン法のグローバル化を考える－競争にさらされる EU 産ワイン－」	マルチメディア教育研究棟 6 階大ホール ■川内キャンパス	16:20-17:50 15:50 開場	国際文化研究科 野村研究室 TEL:022-795-7593 無料
公開講座 【申込不要】	11/30(金)	19 第 59 回 IRIDeS 金曜フォーラム 「北海道南西沖地震から 25 年、日本海・離島の災害研究」	災害科学国際研究所 1 階会議・セミナー室 ■青葉山キャンパス	16:30-18:00	災害科学国際研究所 広報室 TEL:022-752-2049 無料

区分	開催日	イベント名	会　場	時　間	問合わせ先・その他
公開講座【申込不要】	11/30(金)	20 2018年度後期 物理科学の最前線第3回「超高温物理学最前線 ～宇宙の始まりはクォークのスープ？～」	理学部物理系講義棟3階318号室 ■青葉山キャンパス	17:00-18:00	理学研究科物理学専攻 石原 照也 t-ishihara@m.tohoku.ac.jp 無料
公開講座【募集中】	12/1(土)	21 たまきさんサロン　サロン講座「ヨシ原をめぐる生きもの達の冬物語」	せんだい農業園芸センター（若林区荒井字新田13－1）	10:00-12:00 (雨天時:12/2に延期)	仙台市環境局環境共生課 TEL:022-214-0013 無料/抽選30名(小学3年生以下要保護者同伴)/メール,電話申込/締切:11/21
公開講座【募集中】	12/1(土)	22 学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座2018後期「ブラタモリ風ぼうさいまち探検のススメ」	仙台市市民活動サポートセンター6階セミナーホール（仙台市青葉区一番町4-1-3）	10:30-12:00	教育・学生支援部教務課教育支援係 TEL:022-795-4933 無料/定員:80名/FAX,メール申込 締切:11/23
フィールドワーク【募集中】	12/1(土)	23 青葉山・八木山フットパス第2回フィールドワーク「AOBAYAMA文明開化の道」	たまきさんサロン（環境科学研究科本館1階） ■青葉山キャンパス	[レクチャー] 10:30-11:30 [フィールドワーク] 11:30-15:00	青葉山・八木山フットパスの会事務局(内山) TEL:070-5091-4896 500円/先着40名 電話,メール申込/締切:11/26
公開講座【募集中】	12/1(土)	24 サイエンスキャンパス第17回体験型科学教室「光通信手づくり実験」	工学研究科・工学部サイエンスキャンパスホール ■青葉山キャンパス	13:30-15:30	創造工学センター TEL: 022-795-5047 無料/対象:小学5年生から中学3年生/定員:28名 web申込/締切:11/18
公開講座【申込不要】	12/1(土)	25 【出版記念シンポジウム】自然資本を活かした防災と震災復興：東日本大震災からのグリーン復興と今後の展開※チラシなし	生命科学研究科生命科学プロジェクト総合研究棟1階 講義室 ■片平キャンパス	14:00-	生命科学研究科広報室(高橋) TEL:022-217-6193 無料
公開講座【申込不要】	12/2(日)	26 SMMAクロスイベント 第37回市史講座・東北大学史料館企画展公開講座「近代の風景～地図・古写真・公文書でみる仙台」	片平さくらホール ■片平キャンパス	13:30-16:00 13:00開場 [キャンパス建物ツアー] 12:30-13:15	東北大学史料館 TEL:022-217-5040 無料/定員156名 [キャンパス建物ツアー]先着40名
公開講座【募集中】	12/4(火)	27 イノベーションフォーラム in SENDAI 2018	仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール（仙台市青葉区中央1-3-1 AER5F）	13:30-	「仙台でイノベーションを考える3日間」事務局 TEL:022-795-5281 無料/定員:250名/web申込
公開講座【募集中】	12/4(火)	28 経営者のためのイノベーションの教室	エクステンション教育研究棟6階講義室A ■片平キャンパス	18:30-20:20	日本政策金融公庫仙台支店 国民生活第一事業(小出、山田) TEL:022-222-5173 無料/定員50名/web申込 締切:11/30
公開講座【募集中】	12/5(水)	29 ＣＯＩ東北拠点シンポジウム「人生100年時代の健康戦略『旅』が生み出すヘルスケアの進化系」	COREDO室町3（東京都中央区日本橋室町1-5-5）	13:00-17:00 12:00開場	産学連携機構イノベーション戦略推進センター事務支援室 TEL:022-752-2186 無料/先着200名/web申込
公開講座【募集中】	12/7(金)	30 知のフォーラム5周年記念特別講演会「研究成果を社会に実装可能なものとする思考軸と教養 ～人文科学・社会科学研究の観点から～」	文科系総合講義棟204講義室 ■川内キャンパス	16:30-18:00 16:00開場	知の創出センター（ジュターチップ） TEL:022-217-6095 無料/web,TEL,FAX申込

詳細は P12 からの詳細情報、同じ番号のチラシをご覧ください。

区分	開催日	イベント名	会　場	時　間	問合わせ先・その他
公開講座【申込不要】	12/8(土)	31 第 15 回東北大学男女共同参画シンポジウム「今と未来の『共働き』を考える」	翠生ホール（青葉山コモンズ 2 階）■青葉山キャンパス	13:00-17:00	総務企画部総務課 TEL:022-217-4811 無料
公開講座【募集中】	12/9(日)	32 たまきさんサロン　サロン講座「地層から読み解く仙台の大地の歴史」	たまきさんサロン（環境科学研究科本館 1 階）■青葉山キャンパス	13:30-15:30	せんだい環境学習館たまきさんサロン TEL:022-214-1233 無料/対象:小学 5 年生以上 抽選 40 名(小学生以下要保護者同伴) メール,はがき,FAX 申込/締切:11/27
公開講座【申込不要】	12/12(水)	33 第 159 回サイエンスカフェ「医療に役立つソフトマテリアル」	せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進係 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
公開講座【募集中】	12/21(金)	34 東北大学 SDGs シンポジウム「持続可能な開発目標（SDGs）の達成とグローバル人材」	仙台国際センター・桜	13:00-17:30 12:30 受付開始	シンポジウム事務局 TEL:075-241-9620 無料/定員 700 名/web 申込
公開講座【募集中】	12/22(土)	35 たまきさんサロン　サロン講座「マルハナバチって、どんなハチ？～カードゲームとお話で楽しむ、ハナバチと花の世界～」	たまきさんサロン（環境科学研究科本館 1 階）■青葉山キャンパス	13:30-15:00	せんだい環境学習館たまきさんサロン TEL:022-214-1233 無料/抽選 20 名,対象:小学 3 年生以上(小学生以下要保護者同伴) メール,はがき,FAX 申込 締切:12/11
公開講座【申込不要】	1/11(金)	36 第 160 回サイエンスカフェ「モンゴル遊牧民の移動のふしぎ～人と自然の関係を考える～」	せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
公開講座【募集中】	1/19(日)	37 たまきさんサロン　サロン講座「生き残ってきた“在来作物”と未来に残す“種”のおはなし～ちょっぴりお味見～」	たまきさんサロン（環境科学研究科本館 1 階）■青葉山キャンパス	13:30-15:30	せんだい環境学習館たまきさんサロン TEL:022-214-1233 無料/抽選 36 名(小学生以下要保護者同伴)/メール,はがき,FAX 申込/締切:1/8
公開講座【申込不要】	1/25(金)	38 第 59 回 IRIDeS 金曜フォーラム「実務者と研究者の連携による実践的な防災・復興」	災害科学国際研究所 1 階多目的ホール■青葉山キャンパス	16:30-18:30	災害科学国際研究所 広報室 TEL:022-752-2049 無料
公開講座【申込不要】	1/25(金)	39 第 56 回リベラルアーツサロン「親族・家族関係からみた日中両社会」	せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象

※当該記載事項は、11 月 10 日現在の情報です。記載内容等に変更がある場合もありますので、詳細については、別添のチラシを参照するか、問い合せ先にご確認ください。
※萩友会のプレミアム会員は、割引価格でチケットを購入、また東北大学の一部施設への入館・入園料が無料になります。萩友会への加入方法や割引特典等の詳細は、「萩友会」で検索していただくか、東北大学萩友会（022-217-5059）までお問い合わせください。
※博物館・植物園の窓口では萩友会会員証をご提示ください。
※開催日が迫っているもので申し込みが必要なものは、すでに募集を締め切っている場合がありますので、必ず問い合せ先にご確認ください。また、募集期間が過ぎているものでも、定員に余裕がある場合は、参加申し込みを受け付ける場合もありますので、問合せ先にご確認ください。

萩友会優待特典　萩友会プレミアム会員になるとお得がいっぱい！

サイエンスカフェポイント　獲得ポイントに応じて東北大学オリジナルグッズをプレゼント！

チケ得サービス　鑑賞券のご提示でお得なサービス！

減災教育支援

修学支援

研究教育支援

就労・育児支援
（保育所整備）

育てる。
つながる。
次の世代へ。

東北大学基金

TEL:022-217-5058

＜ご寄附の方法＞

クレジットカード決済・郵便振替・銀行振込

※東北大学基金へのご寄附は税制上の優遇措置を受けることができます。

東北大学基金　検索

東北大学ポケットガイド

テクルペ

東北大学へようこそ！
今日はどちらへ？何をしに？
食う観るところに買うところ。
テクテク、クルクル、探してね！
テクルペ持って、行ってテクルペ！

公開施設 / イベント / 散策 / 食事 etc. の情報ＧＥＴ！

このＱＲを読み込んでね！➡

または　テクルペ　検索

東北大学の先生たちが書いたコラムも読めるよ！

テクルペは東北大学の来訪者向けウェブサービスです。

川内第２食堂

普通カレー

～人はそれを貧食カレーと呼んだ!～

1967年の開店以来、東北大学生の胃袋と懐を支え、惜しまれつつも2008年に四十余年の歴史に幕を下ろした川内第２食堂（教養部第２食堂）。「貧食」の愛称で親しまれた食堂の定番メニュー「普通カレー」を当時を知る卒業生と元店長監修のもと復刻しました。

● 商品概要

オリジナルレトルトカレー
「川内第２食堂普通カレー」

販売元：東北大学生協
発　売：2018年9月20日
内容量：200グラム
価　格：1箱378円（税込み）

好評発売中!

【製品に関するお問い合わせ】
東北大学生協さくらショップ
電　話：022-264-0706
E-mail：hsb*tohoku.u-coop.or.jp
（*を＠に置き換えてください）

★ 通信販売でお求めいただけます

https://www.tohoku.u-coop.or.jp/shopping/goods/

売上の７％が東北大学基金に寄附されます

東北大学関連

イベント詳細情報

2018.11.15～

各イベントのチラシをほぼ開催日順に掲載しています。
掲載事項（開催日時、イベント名、会場など）は
変更になる場合があります。
詳細は各お問い合せ先にご確認ください。

1

2018年11月1日㈭受講登録開始

東北大学
オープンオンライン教育開発推進センター
https://mooc.tohoku.ac.jp
secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp
東北大学　mooc

東北大学で学ぶ高度教養シリーズ

家族と民法

2019年1月16日㈬ ～3月19日㈫
法学研究科　水野紀子 教授

夫婦は互いに協力し合い、親は子を育てる義務を負っています。これらの家族間の権利義務を定めているのは、民法です。民法が、家族をどう定めているか見てみましょう。
家族と法は、相性が悪いと言われています。夫婦が相互に愛し合い、両親が慈愛に満ちた聡明な育児をすることが理想だとしても、法は、たとえば愛を失った配偶者に愛することを強制できません。しかし民法は、家族間の権利義務を定めています。それはどのような内容で、どのような機能を果たすのでしょうか。この講義では、それを考えていきます。

東北大学で学ぶ高度教養シリーズ

男と女の文化史

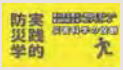
2019年1月16日㈬ ～3月19日㈫
文学研究科　髙橋章則 教授　嶋﨑啓 教授　横溝博 准教授
東京大学　芳賀京子 准教授

「男」と「女」への検討を通して、人間とは何か、歴史とは何か、といった「世界観」再構築の確かな「材料」を提供します。スリリングで知的な視点・技術で探求した「男と女のドラマ」をご鑑賞ください。
（2018年5月に開講した第1回と同じ内容となり、課題の一部を変更しております。）

受講登録受付中

東北大学サイエンスシリーズ

東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ―災害科学の役割



2018年9月26日㈬ ～11月27日㈫
災害科学国際研究所　今村文彦 教授　後藤和久 准教授　佐藤翔輔 准教授　安倍祥 研究員

東北大学で学ぶ高度教養シリーズ

memento mori―死を想え―

2018年10月3日㈬ ～12月4日㈫
教養教育院　鈴木岩弓 総長特命教授

対面学習コース　受講申込受付中！

<京都会場>	<仙台会場>
11月18日㈰ 14:00	11月25日㈰ 14:00
キャンパスプラザ京都	東北大学川内北キャンパス
参加費3,000円　定員30名	参加費3,000円　定員40名
＊事前申込11/11〆切　先着順	＊事前申込11/18〆切　先着順

東北大学サイエンスシリーズ

解明:オーロラの謎

2018年10月31日㈬ ～12月18日㈫
理学研究科　小原隆博 教授

対面学習コース　受講申込受付中！

<高校生対象>	<一般対象>
12月1日㈯ 9:30	12月1日㈯ 13:30
東北大学青葉山キャンパス	東北大学青葉山キャンパス
参加費無料　定員35名	参加費3,000円　定員35名
＊事前申込11/25〆切　先着順	＊事前申込11/25〆切　先着順

2019年3月受講登録開始予定

東北大学サイエンスシリーズ

銀河考古学入門～銀河の形成と進化を辿る

2019年春 開講予定　理学研究科　千葉柾司 教授

2

東北大学史料館企画展

蛮カラ学生の学び舎

～旧制二高とキャンパスの変遷～

入場無料

明治から昭和にかけて、東北大学ゆかりの地には旧制第二高等学校がありました。
朴歯（ほうば）の高下駄に破れた衣服…「蛮カラ」な学生たちが青春を過ごした旧制二高の企画展です。

ばん - カラ【蛮―】〔名〕（形動）（「ばん」は野蛮の蛮、「カラ」はハイカラのカラ）言動・風体が粗野なこと。また、わざとそのようにふるまうこと。また、そのさまや人。洋風の「ハイカラ」に対する造語。　（『日本国語大辞典』より引用）

片平キャンパスに佇む旧制二高生の像。
（彫刻家・佐藤忠良による作品）

※旧制二高を象徴する蜂章

2018
開催期間　9月28日(金)～12月14日(金)
※9/29(土)～11/4(日)は土・日・祝日および12/2（日）も開館します。

開催時間　10時～17時（土日祝は16：30まで）

〈関連行事〉片平キャンパス建物ツアー　登録有形文化財の建物が見所
9月30日(日)　10:30／15:30　2回(約1時間)
＊事前申込不要。直接、史料館入口までお越しください。

東北大学史料館
協賛:東北大学キャンパスデザイン室
東北大学学友会応援団
旧制第二高等学校をレスペクトする会
伊藤正浩（野球史家）

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1　東北大学片平キャンパス内
〈Mail〉desk-tua@grp.tohoku.ac.jp
〈Tel〉022-217-5040
●アクセス
・仙台市地下鉄東西線青葉通一番町駅、同南北線五橋駅より徒歩10分
・仙台駅西口バス乗り場11番より東北大正門前下車5分

3

東北大学生命科学研究科・東北大学総合学術博物館
共同小企画展

もっとしりたい日本とキューバのコウモリ

2018年10月2日（火）～11月25日（日）

会場：東北大学総合学術博物館
（理学部自然史標本館）
二階企画展示スペース

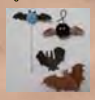
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
TEL/FAX 022-795-6767
http://www.museum.tohoku.ac.jp/

開館時間：10：00～16：00
入館料：大人150円　小人80円
※東北大学の学生・教職員は無料
（受付で身分証を提示してください）
休館日：月曜日
（月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）

主催：東北大学生命科学研究科・東北大学総合学術博物館
協力：遠藤 公男・髙橋 修・仙台市科学館・宮城教育大学 教員キャリア研究機構 環境教育・情報システム研究領域 環境教育ライブラリー えるふ

参加費無料のワークショップも開催！（参加には入館料がかかります）

10月14日（日）、28日（日）
コウモリたちとハロウィン！
ハロウィンに合わせて
コウモリの小物を作ろう
1回目14:00～14:30
2回目14:30～15:00
3回目15:00～15:30　各回先着10組
講師：リダ・サンチェス・サンチェス
協力：みちのく博物楽団



11月11日（日）
おりがみの目にコウモリおりがみ！
おりがみでいろいろなコウモリを折ってみよう
おひとり15分程度
午前の部 10:30～11:30
午後の部 13:30～15:30
講師：リダ・サンチェス・サンチェス
協力：みちのく博物楽団

4

5

東北大学

東北大学112周年
フォトコンテスト(秋-冬)

テーマ：あなたが世界に紹介したい・自慢したいもの
募集期間：2018.10.31-2019.1.31

【募集カテゴリ】
カテゴリA：東北大学の風景・建物
カテゴリB：研究・教育・サークル活動
カテゴリC：宮城の自然・暮らし・伝統・文化・名産品
※各カテゴリにお１人様１点まで応募できます。

【賞品】
年間大賞（１点）：商品券 50,000 円
年間 Web 大賞（１点）：商品券 20,000 円
入賞（各シーズン数点）：商品券 2,000 円
※年間大賞・Web 大賞は年に１回、入賞は各シーズン毎に発表します。

・応募写真はデジタルデータのみ、インターネット経由のみの受付です。
・詳細は、募集要項（http://bit.ly/photocon5）をご覧ください。

東北大学 広報室 フォトコンテスト係　Email：photo_contest@grp.tohoku.ac.jp

6

東北大学

平成30年度 東北大学附属図書館企画展

西洋古典への扉

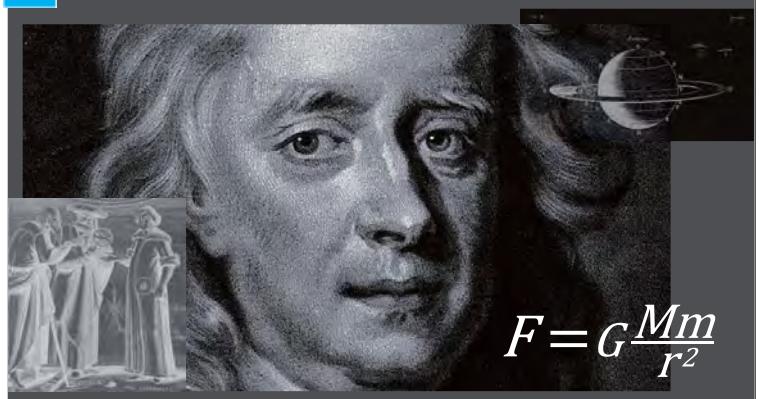
The Door into Old and Rare Books

2018
11月1日(木)-18日(日) 10:00-17:00
入場無料
東北大学附属図書館 本館多目的室

記念講演会
11月14日(水) 13:00 開場　13:30 開演
「活版印刷の発明者・グーテンベルク」
小川知幸 氏　東北大学総合学術博物館
「金属活字組版の実際」（ワークショップ）
菊地淳 氏　ハリウコミュニケーションズ株式会社
東北大学附属図書館本館 フレキシブルワークエリア

アクセス　市営バス「川内駅」から　徒歩6分
市営地下鉄東西線「川内」駅から徒歩6分／「国際センター」駅から徒歩7分
主催　東北大学附属図書館 022-795-5911(代表)
協力　東北大学総合学術博物館
せんだいメディアテーク(公益財団法人 仙台市市民文化事業団)

7



総合学術博物館・北青葉山分館 連携 展示

黎明の自然科学
Dawn of Natural Science through Rare Books

東北大学附属図書館の北青葉山分館は1985年に竣工しました。しかしその蔵書の歴史は、それまで片平キャンパスにあった理学部各学科・中央図書室に収蔵されていた書籍を集中したことで、1911年の東北帝国理科大学創設時にまで遡ります。とくに洋書には初代教授によって購入されたと考えられるガリレオ、ニュートンなど自然科学の古典が多数含まれています。
これらの洋書のうち未公開の一部を総合学術博物館との連携展示によってご紹介します。

2018 11. 1 (木) > 18 (日)
理学部自然史標本館（北青葉山キャンパス）
■ 仙台市地下鉄東西線青葉山駅下車、北１出口より徒歩３分
■ 開館時間 10:00～16:00（月曜休館）■ 入館料 大人 150円 小/中学生 80円
☆ 東北大学教職員および学生は身分証提示により入館無料

8

FRIS　第21回 学際科学フロンティア研究所 セミナー

2018年7月は記録的な豪雨と猛暑に襲われました。

上旬に起こった西日本豪雨は
平成最悪の豪雨となり、台風12号は
異例の逆走をはじめました。

そして、23日に埼玉県熊谷市で最高気温41.1度を
記録し、5年ぶりに国内記録を更新しました。

このような記録づくめの夏は、

いかにして起こったのか？
世界ではどうだったのか？
海は静観していただけなのか？

異常気象と温暖化をキーワードに
平成最後の夏を振り返り、
地球の未来を少しだけ想像してみましょう。

講師：**杉本 周作** 助教
（学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部）

2018年猛暑は海水温異変が原因？
平成最後の夏から読み解く
異常気象と温暖化 ―

2018年
11月16日(金)
13:00-14:30
学際科学フロンティア研究所１階大セミナー室

［事前申込不要・参加自由］

主催：東北大学学際科学フロンティア研究所　お問合せ：学際科学フロンティア研究所 企画部 kikaku@fris.tohoku.ac.jp 富真

9 33 36 39

Tohoku University Science Café
東北大学 サイエンスカフェ

サイエンスがもっと楽しくなるティータイム
科学者が、科学に関心のある方々と飲み物を片手に気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

東北大学二〇一八年度 後期プログラム
各回とも 18:00▸19:45

10/26(金) 第157回 サイエンスカフェ
場所：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
がんは、何から出来てるの？
中山 啓子 教授 [医学系研究科]

11/16(金) 第158回 サイエンスカフェ
※受付開始にご注意ください。
場所：東北大学青葉山キャンパス 青葉山コモンズ1階 ラーニング・コモンズ
合成フェロモンを使って害虫防除
桑原 重文 教授 [農学研究科]

11/9(金) 第55回 リベラルアーツサロン
※受付開始にご注意ください。
場所：東北大学片平キャンパス 片平北門会館2階 エスパス
少子高齢化と人口減少社会
福田 亘孝 教授 [教育学研究科]

12/12(水) 第159回 サイエンスカフェ
※受付開始にご注意ください。
場所：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
医療に役立つソフトマテリアル
山本 雅哉 教授 [工学研究科]

1/11(金) 第160回 サイエンスカフェ
場所：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
モンゴル遊牧民の移動のふしぎ ～人と自然の関係を考える～
柿沼 薫 助教 [理学研究科]

1/25(金) 第56回 リベラルアーツサロン
場所：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
親族・家族関係からみた日中両社会
瀬川 昌久 教授 [東北アジア研究センター]

2/15(金) 第161回 サイエンスカフェ
場所：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
生き物に学ぶ材料開発
藪 浩 准教授 [材料科学高等研究所]

3/22(金) 第162回 サイエンスカフェ
場所：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
合成化学で機能を創る
瀧宮 和男 教授 [理学研究科]

3/15(金) 第57回 リベラルアーツサロン
※受付開始にご注意ください。
場所：東北大学片平キャンパス 片平北門会館2階 エスパス
相関関係と因果関係を考える ～入門計量経済学～
若林 緑 准教授 [経済学研究科]

各回とも 18:00▸19:45

TOHOKU UNIVERSITY

知の匠と語り合う贅沢な時間。

参加費無料
事前申し込みは不要です

サイエンスカフェ、リベラルアーツサロンは東北大学が主催する「学問をもっと身近に、もっと楽しくする」参加型のトークイベントです。

Tohoku University LiberAl ArtSalon
trivium & Quadrivium 東北大学リベラルアーツサロン

文系らしく会話を楽しむサロン
文系の幅広い分野の中から、身近なテーマ・知識欲をかき立てるテーマを取り上げ、お茶を飲みながら会話に興じる場です。

※テーマ・講師等は予告なく変更となる場合があります。
※開催の様子をカメラ等で撮影し、動画や写真を広報等に使用する場合がありますのでご了承ください。

東北大学 総務企画部社会連携課社会連携推進係
022-217-5132 東北大学 サイエンスカフェ

東北大学2018年度 後期プログラム　各回とも 18:00▸19:45

Tohoku University Science Café 東北大学 サイエンスカフェ

サイエンスがもっと楽しくなるティータイム
科学者が、科学に関心のある方々と飲み物を片手に気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

誰でも自由に無料でご参加いただけます。
飲み物を片手に気軽に参加できるスタイルです。
中高生、大学生、社会人の皆様のご参加をお待ちしております。

10/26(金) 第157回 会場A
がんは、何から出来てるの？
中山 啓子 教授 [医学系研究科]
私たち多細胞生物を構成する細胞は、皆同じ遺伝子を持っています。しかし、癌細胞はどうも違っているようです。そして腫瘍という塊を作る細胞は癌細胞だけではありません。どうしてそのような事が起こるのか、少し考えてみましょう。

11/16(金) ※受付開始にご注意ください。 第158回 会場B
合成フェロモンを使って害虫防除
桑原 重文 教授 [農学研究科]
昆虫の多くはフェロモンという化学物質を使って、雌雄や仲間内の様々な情報伝達を行っています。そのフェロモンを上手く使えば、殺虫剤を使わずに害虫を防除することができます。今回は、昆虫フェロモンの化学合成（作り方）と害虫防除への応用法を紹介します。

12/12(水) ※受付開始にご注意ください。 第159回 会場A
医療に役立つソフトマテリアル
山本 雅哉 教授 [工学研究科]
私たちの身近にあるゼリーには、水がたくさん含まれています。同じように私たちの体も水をたくさん含んでいます。今回、このゼリーのようなソフトマテリアルを使って、体の機能を再現して医療に役立てようとする試みについて紹介します。

1/11(金) 第160回 会場A
モンゴル遊牧民の移動のふしぎ ～人と自然の関係を考える～
柿沼 薫 助教 [学際科学フロンティア研究所・環境科学研究所]
みなさんは、引っ越しをしたことがありますか？モンゴル草原に暮らす遊牧民は、家畜とともに移動（引っ越し）しながら生活しています。遊牧民の移動について、自然環境や社会的要因との関連を紹介しながら、そこから見えてくる人と自然の関係を議論したいと思います。

2/15(金) 第161回 会場A
生き物に学ぶ材料開発
藪 浩 准教授 [材料科学高等研究所]
ハスの葉が水をはじくのはなぜだろう？どうしてタマムシはあんなにキレイな色をしているのだろう？生き物には様々な機能を思いがけない方法で実現しています。生き物が持っている能力を参考にした新しい機能材料の開発について紹介します。

3/22(金) 第162回 会場A
合成化学で機能を創る
瀧宮 和男 教授 [理学研究科]
20世紀に大きく発展した有機合成化学は、21世紀に入り、従来対象としていなかったエレクトロニクス分野にも重要な役割を果たすようになっています。今回、私たちの研究室で生み出された化合物を例に、エレクトロニクスへの応用について紹介します。

Tohoku University LiberAl ArtSalon
Trivium & Quadrivium 東北大学リベラルアーツサロン

文系らしく会話を楽しむサロン
文系の幅広い分野の中から、身近なテーマ・知識欲をかき立てるテーマを取り上げ、お茶を飲みながら会話に興じる場です。

11/9(金) ※受付開始にご注意ください。 第55回 会場C
少子高齢化と人口減少社会
福田 亘孝 教授 [教育学研究科]
日本は少子高齢化が伸展し、総人口も減少しつつあります。日本の少子高齢化にはどんな特徴があるのか？人口の減少によって日本社会はどうなるのか？をテーマにしてお話しします。

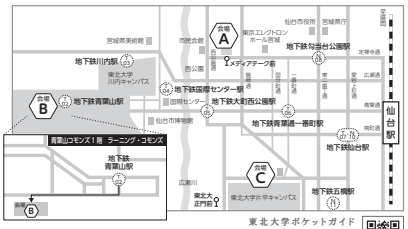
1/25(金) 第56回 会場A
親族・家族関係からみた日中両社会
瀬川 昌久 教授 [東北アジア研究センター]
家族・親族の絆は社会を成り立たせる基本的で自然な人のつながりと見なされることが多いが、中国社会のそれを比較対象として見て行くことにより、日本との違い・共通点、そして現代社会の中での変化や持続性を考える。

3/15(金) ※受付開始にご注意ください。 第57回 会場C
相関関係と因果関係を考える ～入門計量経済学～
若林 緑 准教授 [経済学研究科]
安倍内閣は、「すべての女性が輝く社会づくり」を推進しています。どうすれば、女性を輝かせることができるのでしょうか。本日の講演では「どのようなことを調べれば、政策提言に役立つのか」「相関関係」と「因果関係」に重点を置いて話をしたいと思います。

会場A **せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア**
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1　tel. 022-713-3171
地下鉄 ●仙台駅より南北線「泉中央」行きに乗車、JN08 勾当台公園駅」下車、(公園2) 出口から徒歩約6分。(約450m)
●東西線「T05 大町西公園駅」下車、「東1出口または西1出口」から徒歩約13分。
東西線「T06 青葉通一番町駅」下車、「北1」出口から徒歩約15分。
バス 仙台市営バス　仙台駅前6番（仙台TRCビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前）のりばから「定禅寺通市役所前経由文通福大学病院」行き（系統番号が J または X で始まるバス）で約10分「メディアテーク前」下車。

会場B **東北大学青葉山キャンパス 青葉山コモンズ1階 ラーニング・コモンズ**
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1　tel. 022-757-4026
地下鉄 ●地下鉄より地下鉄東西線「八木山動物公園」行きに乗車、「T02 青葉山駅」下車、「南1」出口より徒歩約3分。

会場C **東北大学片平キャンパス 片平北門会館2階 エスパス**
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1　tel. 022-217-6090
地下鉄 ●仙台駅より地下鉄南北線「富沢」行きに乗車、「N11 五橋駅」下車、「北2」出口より徒歩約10分。
●仙台駅より地下鉄東西線「八木山動物公園」行きに乗車、「T06 青葉通一番町駅」下車、「南1」出口から徒歩約10分。
バス 仙台市営バス 仙台駅前11番のりばから「東北大学病院前－八木山動物公園駅」・「八木山動物公園駅行」か「東北大学病院前－緑ヶ丘三丁目」・緑ヶ丘三丁目行」か「東北大学病院前－西高校入口」・西高校入口行」で約5分。東北大学正門前下車徒歩約3分。



東北大学のキャンパスマップ・イベント情報はコチラ！
東北大学ポケットガイド テクルペ

10

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY　IRIDeS

Press Release

平成 30 年 11 月 9 日

報道機関　各位

東北大学災害科学国際研究所

「第 26 回　防災文化講演会」開催のご案内
テーマ：復興まちづくりとこれから

このたび、東北大学災害科学国際研究所は気仙沼市内にて、「復興まちづくりとこれから」をテーマに、第 26 回防災文化講演会を下記のとおり開催いたします。

当研究所は、平成 25 年 7 月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、同年 10 月には気仙沼分室（通称：気仙沼サテライト）を気仙沼市内に設置し、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでまいりました。防災文化講演会はこのたび 26 回目となりますが、今回も、市民の皆様との情報交流の機会として開催いたします。

つきましては、ご多忙中と存じますが、本イベントについて広く周知いただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。なお、取材にあたっての事前申し込みは不要です。

記

1. 日時：平成 30 年 11 月 17 日（土）13 時 00 分～15 時 00 分（開場：12 時 30 分）

2. 会場：気仙沼市役所ワンテン庁舎大ホール（予定）

3. 主催：東北大学災害科学国際研究所
   共催：気仙沼市（申請中）

4. 趣旨：
   東北大学災害科学国際研究所と気仙沼市のさらなる協力関係の強化と情報交流のため、本研究所が推進する防災・減災に関わる最新の調査・研究の成果に基づく災害科学情報を、気仙沼市や近隣にお住まいの方々ならびに関連する活動を実施されている方々に向けて発信し、気仙沼市の今後をともに考える。

5. 対象：一般向け（参加申込　不要）

6. 次第：

話題提供（講演 50 分：休憩 10 分）
- 復興まちづくりとこれから（仮）
  東北大学災害科学国際研究所都市再生計画技術分野　教授
  岩田　司

ディスカッション（60 分）
- 気仙沼のこれからのまちづくりを考える
  司会：
  東北大学災害科学国際研究所被災地支援研究分野　助教
  マリ　エリザベス　アン

なお、講演時にメモを配布しますので、講演を聴きながら、これからの気仙沼に必要なまちづくりについて、各自自由にお書きください。それをもとにディスカッションを行いたいと思います。皆さんで、楽しく気仙沼の将来を語りましょう。

【問い合わせ先】
東北大学災害科学国際研究所　気仙沼分室
（担当・熊谷成一）
Mail：skumagai@irides.tohoku.ac.jp
TEL:：0226-23-7441

イベント

www.tohoku.ac.jp

11

植物園ガイドウォーク

技術職員が植物園の見どころをご案内いたします。

開催日時

9月　9日(日)（予約受付:8月28日より）

10月14日(日)（予約受付:9月30日より）

11月18日(日)（予約受付:11月4日より）

開始時間:午前10時　植物園本館より出発

所要時間:約2時間（10:00～12:00）

定員:各10名（事前予約制）

予約受付: TEL 022-795-6760

・予約は電話あるいは植物園本館の受付窓口で直接承ります。
・観察コースは山道で高低差が最大90m程あります。体調や身支度を十分に整えてご参加ください。
・参加費無料（あらかじめ入園券をお買い求め下さい）。
・安全管理のため定員に到達次第募集を締め切らせていただきます。
・災害等の発生が予想される場合は中止することがあります。

東北大学植物園

2018.

12

参加無料

科学で東北を盛り上げ隊！@石巻

子どもから大人まで、科学に集う、サイエンスフェスティバル！

♪小さなお子様は保護者同伴でご参加ください♪

2018年

11月18日(日)

10:00～15:00

会場:こもれびの降る丘 遊楽館
（石巻市北村字前山15－1）

★実験ブース紹介★

☆「ゆらゆら・くるくる宙に浮くクリップ」
昭和☆子大学with ガリレオ工房

☆「のび～るスライム/光るスライムであそぼう」
やまがた『科学の花咲く』プロジェクト　スライムマイスター

☆「じょうずに鳴るかな？ストロー笛」
東北大学大学院理学研究科・理学部広報サポーター

☆「東京学芸大学附属高等学校その1『すみ電池』をつくってみよう」
東京学芸大学附属高等学校

☆「東京学芸大学附属高等学校その2 早く緑色にしてよ～」
東京学芸大学附属高等学校

☆「植物の葉のつくりをみてみよう」
やまがた『科学の花咲く』プロジェクト　葉王マイスター

☆「アンドロメダファイト～宇宙に触れるカードバトル～」
東北大学理学研究科天文学専攻

☆「絵が消える！？マジックカードを作ろう！」
山形大学SCITAセンター学生スタッフ

☆「植物の不思議『空飛ぶ種をつくってみよう』」
山形県立博物館

☆「リングキャッチャーで遊ぼう」
科学講座研究会

☆「モーターをつくってみよう」
Science & Technology for All

☆「クラゲふれあいコーナー」
やまがた『科学の花咲く』プロジェクト　クラゲマイスター

☆「カラフルマジック」
東北芸術工科大学教育アートプロジェクト

☆「Ooho」
宮城県石巻高等学校

☆サイエンスショー☆

「Let's理科読　くうき」
NPO法人ガリレオ工房　土井美香子

「水素は未来のエネルギー」
山形大学教授　栗山恭直

「わくわくドキドキ化学実験クイズショー」
東京学芸大学附属高等学校

「光のサイエンスショー」
山形大学SCITAセンター学生スタッフ

主催　やまがた『科学の花咲く』プロジェクト（山形大学）
共催　東北大学理学部・大学院理学研究科
後援　石巻市教育委員会、東松島市教育委員会、女川町教育委員会、公益社団法人　日本化学会、公益社団法人　東京応化科学技術振興財団、鶴岡市立加茂水族館、河北新報社、田宮印刷(株)、山形大学校友会

■問合せ先 ☎023-628-4506
山形大学SCITAセンター内
http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/chiiki/

13

ものづくり基礎講座第57回技術セミナー

～金属ガラスに関する公開講座～

《主催》東北大学金属材料研究所附属産学官広域連携センター、兵庫県立大学ナノ・マイクロ構造科学研究センター
《共催》日本材料学会金属ガラス部門委員会、兵庫県立大学高度生産加工技術研究センター匠の技プロジェクト、兵庫県立工業技術センター
《後援》財団法人大阪産業振興機構、粉体粉末冶金協会金属ガラス・ナノ金属結晶材料委員会

【趣　旨】 金属ガラスは、結晶構造を持たないアモルファス金属の一種で、高強度（強く）、低ヤング率（しなやかで）、高耐食性（錆び難い）、優れた磁気特性（高透磁率、低保磁力）など、従来の結晶材料に比べて優れた高機能特性を示すことから、多くの産業分野に応用が期待されています。しかし、金属ガラスやアモルファス金属は、作製方法が特殊であり、またその形状が限られるため、鋳造から加工や接合など製造プロセスに特殊性があります。本公開講座では、金属ガラスの作製からその加工までの全般にわたる作製プロセスの解説と、金属ガラスねじの作製に成功したねじメーカーから、ねじの加工方法と金属ガラスを応用するための取り組みをご紹介いただきます。また、市販の金属材料や金属ガラスの組織や断面観察を身近な器具で始める方法について実習を通してご紹介いたします。皆様の多数のご来聴をお待ちしております。

『金属ガラスに関する公開講座』

開　催　概　要

【テ ー マ】 ねじ加工プロセスと金属ガラスの応用
【日　　時】 平成３０年１１月２１日（水）１３：２０～１７：３０
【場　　所】 兵庫県立工業技術センター　技術交流館２F　セミナー室
（神戸市須磨区行平町 3-1-12）http://www.hyogo-kg.jp/access/
【受 講 料】 無　料
【定　　員】 ３０名程度（ただし、実習は希望者のみ約１０名）

【ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ】
第一部　講義・講演
あいさつ　　兵庫県立大学ナノ・マイクロ構造科学研究センター　センター長　山﨑 徹
13:20～14:20　「金属ガラス・アモルファス合金の作製、加工及び実用例」　東北大学金属材料研究所　網谷健児
14:20～15:00　「ねじ製造における加工技術と金属ガラスへの応用」　株式会社丸エム製作所　山中茂

第二部　実習　（定員約 10 名）
15:10～15:30　見学：金属ガラス・アモルファス合金の作製
15:30～17:30　実習：身近なもので始める組織観察
（結晶金属材料や金属ガラスの鏡面研磨と組織観察）

（13:00-13:20　日本材料学会金属ガラス部門委員会）

ものづくり基礎講座第 57 回技術セミナー受講申込書
～金属ガラスに関する公開講座～

ものづくり基礎講座技術セミナー	参加　・　不参加
実習（10 名限定）	参加　・　不参加
企　業　名	
所　在　地	
所属・役職	
氏　　名	
連　絡　先	【電　話】
	【E-mail】

【お申込み】 上記受講申込書に必要事項をご記入の上、下記まで FAX 又は電子メールでお送り下さい。
東北大学金属材料研究所　附属産学官広域連携センター
FAX：０７９－２６０－７２１０
E-mail：kouiki_hyogo@imr.tohoku.ac.jp

【会場アクセス】

ＪＲ神戸線鷹取駅から西へ徒歩７分
ＪＲ須磨海浜公園駅から東へ徒歩９分
山陽電鉄東須磨駅から南へ徒歩 15 分

＊なるべく公共交通機関でご来場ください。

【お問合せ先】 東北大学金属材料研究所　附属産学官広域連携センター　兵庫オフィス
（担当：網谷特任准教授、五十嵐事務補佐）
TEL：０７９－２６０－７２０９
E-mail：kouiki_hyogo@imr.tohoku.ac.jp

Ver.1[金研]

14

特定非営利法人日本歯科保存学会
市民公開フォーラム

「むし歯と歯周病-予防と治療の最前線」

平成30年11月23日（祝）
13:30~16:00 (13:00~受付開始)
東北大学片平さくらホール
〒980-8577　宮城県県仙台市片平 2-1-1
(片平キャンパス内)

参加費無料

プログラム

1)『スマート口腔ケアで元気になろう！』
齋藤正寛　（東北大学大学院歯学研究科　歯科保存学分野・教授）

2)『活かそう！唾液のちから』
山田亜矢　（東北大学大学院歯学研究科　小児発達歯科学分野・准教授）

3)『歯周病予防と治療から始める健康づくり』
山田　聡　（東北大学大学院歯学研究科　歯内歯周治療学分野・教授）

参加をご希望の方は、FAX、Eメールで受け付けています。
①氏名・②住所・③性別・④年齢・⑤連絡先（電話番号・FAX番号）
を明記の上、下記あて先までお申し込みください。

東北大学大学院歯学研究科 歯内歯周治療学分野　「市民フォーラム事務局」
E-mail: helloendperio@grp.tohoku.ac.jp
FAX: 022-717-8339

先着150名様には10月23日以降、事務局より参加証をお送りいたします。
申し込み締め切り日 平成30年11月20日（火）必着

主催：特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
後援：東北大学大学院歯学研究科・東北大学病院・宮城県歯科医師会

16

15

大切な人のために
今知っておきたい最新治療

第5回 心臓移植 市民公開講座

日時　2018年11月24日(土)
14:00～16:00(13:30受付開始)

会場　仙台市中小企業活性化センター
アエル5F「多目的ホール」〒980-6105 仙台市青葉区中央1-3-1 AER 5階

どなたでも参加自由
定員:500名
参加費無料

プログラム概要　総合司会：ワッキー貝山

❶ 開会のあいさつ	5分	東北大学循環器内科	下川 宏明
❷ 心不全とは(重症心不全の治療法)	15分	東北大学循環器内科	杉村 宏一郎
❸ 補助人工心臓の進歩と心臓移植	15分	東北大学心臓血管外科	秋山 正年
❹ 移植医療のシステムについて	15分	臓器移植ネットワーク	林 昇甫
❺ 休憩	10分		
❻ 脳死ドナーについて	15分	東北大学救急医学分野	久志本 成樹
❼ 患者からのメッセージ	25分	心臓移植患者さん、VAD植え込み患者さん	
❽ 家族からのメッセージ	15分	移植患者さんご家族、移植待機患者さんご家族	
❾ 閉会のあいさつ	5分	東北大学心臓血管外科	齋木 佳克

■主催:一般社団法人 日本循環器学会／一般社団法人 日本心不全学会／第5回 心臓移植市民公開講座実行委員会
■共催:一般社団法人 日本循環器学会 東北支部／一般社団法人 日本移植学会／特定非営利活動法人 日本胸部外科学会／一般社団法人 日本循環器看護学会／特定非営利活動法人 日本小児循環器学会／特定非営利活動法人 日本心臓血管外科学会／一般社団法人 日本心臓病学会／日本心臓移植研究会
■後援:厚生労働省／公益社団法人 日本医師会／公益社団法人 日本薬剤師会／公益社団法人 宮城県医師会／一般社団法人 仙台市医師会 公益財団法人 日本心臓財団／公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク／河北新報社／仙台放送／TBC東北放送／ミヤギテレビ
■協賛:ニプロ株式会社

【問い合わせ先】日本コンベンションサービス株式会社 東北支社　FAX：022-722-1178　E-mail：snimin-shinzou@convention.co.jp

第5回 心臓移植 市民公開講座

参加費無料
定員:先着500名
(全席自由)

FAX 申込書

申し込み締切日:2018年11月20日(火)必着
FAX：022-722-1178

申込日:　　月　　日

お名前（フリガナ）	参加者数
氏　名　（男・女）	名
住　所（〒　　－　　）	
TEL：　　FAX：	
E-mail：	

キリトリ線

ハガキの方
こちらの記入欄を切り取りハガキ裏面に貼付けてご使用ください。
※FAXの方は、切り離さずそのままご利用ください。

申込方法

参加を希望される方は、右のQRコードよりオンラインにてお申込みいただくか、ハガキまたはFAXにてお申込みください。

ハガキの方
上部記入欄を切り取りハガキ裏面に貼付け、以下の内容をご記入ください。
①参加者氏名(代表者)　②フリガナ　③参加者数　④郵便番号
⑤住所　⑥TEL　⑦FAX(あれば)　⑧E-mail(あれば)

FAXの方
チラシの申込書をご利用ください。
申込締切:2018年11月20日(火)(定員500名)
※尚、当日に空席がある場合は、当日も申込を受付ますが、満席の場合にはお断りをする場合もございますので、予めご了承ください。

個人情報の取扱について　氏名、住所等の個人情報は、本講座の運営に関する以外の目的には使用いたしません。また、個人情報は第三者へは開示いたしません。

【注意事項】●お申込後に参加をキャンセルされる場合は、FAXかE-mailでご連絡ください。

【お申込み・お問合せ先】 第5回 心臓移植市民公開講座 運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社 東北支社　〒980-0824 仙台市青葉区支倉町4-34 丸金ビル6階
FAX：022-722-1178　E-mail：snimin-shinzou@convention.co.jp

17

TOHOKU UNIVERSITY

東北大学
電気・情報

仙台フォーラム 2018

Sendai Forum

安全・安心なIoT社会を実現するセキュリティ技術

平成30年
11/29 木
14:00〜19:00
(受付13:30〜)

会場／仙台国際ホテル
仙台市青葉区中央4丁目6-1
tel.022-268-1111

- 第1部 講演会 14:00 ~ 16:20
  - 講演01 「IoT・5G時代に向けたセキュリティ技術について」 中島 康之 (株式会社KDDI 総合研究所 代表取締役所長)
  - 講演02 「サイバーセキュリティ政策の最新動向」 木村 公彦 (総務省 サイバーセキュリティ統括官付参事官)
  - 講演03 「ハードウェアセキュリティ技術とその展望」 本間 尚文 (東北大学電気通信研究所 教授)
- 第2部 RIEC Award 授賞式 16:30 ~ 17:15
- 第3部 意見交換と懇親の集い 17:30 ~ 19:00

主催 東北大学電気通信研究所　共催 東北大学電気・情報系
後援 総務省、文部科学省、東北大学電気・通信・電子・情報同窓会、東北大学萩友会

問合せ・連絡先
東北大学電気通信研究所研究協力係
〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号 TEL.022-217-5422 FAX.022-217-5426
E-mail:riec-ken@ml.riec.tohoku.ac.jp URL:http://www.riec.tohoku.ac.jp/

RIEC

18

GSICS TOHOKU UNIVERSITY

東北大学

東北大学大学院国際文化研究科
平成30年度科長裁量経費による学術講演会
国際文化研究科主催
美食のヨーロッパ文化学
〔第4回〕

ワイン市場とワイン法のグローバル化を考える

― 競争にさらされるEU産ワイン ―

近年、ワイン市場では急激なグローバル化が進行しています。EU ではワインの売れ行きが伸び悩む一方で、「ニューワールド」と呼ばれる南半球や北米の国々で造られたワインがシェアを伸ばしており、日本国内では「日本ワイン」が大ブームになっています。また、国や地域によって異なるワイン法が取引の妨げになることから、ワイン法のグローバル化に向けた取り組みもみられます。この講演では、世界や日本国内のワイン市場の現況を紹介するとともに、ワイン法をめぐる各国の動きをわかりやすくお話しいたします。

日時 2018年11月30日(金) 16:20~17:50(15:50 開場)
場所 東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟6F大ホール

入場無料 来聴歓迎

わが国を代表するワイン法の専門家が、グローバル化時代のワインが直面する諸問題について平易に解説します。どうぞ気軽にご来場ください。

講師 蛯原健介
(明治学院大学法学部 グローバル法学科 教授)
(えびはら けんすけ) 博士(法学)。
日本ソムリエ協会「ソムリエ・ドヌール」(名誉ソムリエ)。
専門はワイン法・公法学。主著に『はじめてのワイン法』(虹有社)、『世界のワイン法』(日本評論社)、『旅するように学ぶ―フランスAOCワインガイド』(三省堂)など。

●仙台市営地下鉄
東西線八木山動物公園方面行きに乗車、「川内駅」にて下車。出口より徒歩1分。

問合せ先：
東北大学大学院国際文化研究科
野村研究室 (TEL/FAX:022-795-7593)

19

災害科学国際研究所 IRIDeS International Research Institute of Disaster Science

平成30年 第59回

IRIDeS金曜フォーラム

日時：11月30日（金）16:30～
会場：災害科学国際研究所　1階 会議・セミナー室

テーマ：「北海道南西沖地震から25年、日本海・離島の災害研究」

内容：
1. 16:30～17:00
北海道南西沖地震・奥尻島の津波被害とシミュレーション（仮題）
越村 俊一（災害リスク研究部門）
2. 17:00～17:30
地方紙における被災地報道の変化－北海道南西沖地震に関する2つの地方紙の報道から－
定池 祐季（情報管理・社会連携部門）
3. 17:30～18:00
災害と共に生きた島々
川島 秀一（人間・社会対応研究部門）

第60回 IRIDeS金曜フォーラム：
2019年1月25日（金）16：30～18：30
実務者と研究者の連携による実践的な防災・復興

参加費無料・申込不要
どなたでもご参加いただけます。
詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

<アクセス>
仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅 南1出口
徒歩約3分。公共交通機関をご利用ください。

http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html

20

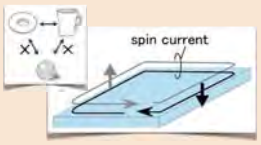
2018年度後期 物理科学の最前線

主　催：東北大学大学院理学研究科物理学専攻
会　場：東北大学理学部物理系講義棟3階318号室
（地下鉄東西線　青葉山駅下車）
http://www.sci.tohoku.ac.jp/campusmap/kita-aobayama/

講演時間：17:00-18:00
一般来聴歓迎（無料）

10月 5 日(金)

トポロジーが開く新しい物性物理の地平
～トポロジカル物質～
村上　修一 氏
東京工業大学理学院 教授

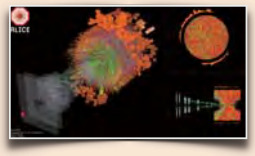


11月 2 日(金)

陽子のサイズがおかしい？
須田　利美 氏
東北大学電子光理学研究センター 教授

11月30日(金)

超高温物理学最前線
～宇宙の始まりはクォークのスープ？～
平野　哲文 氏
上智大学理工学部 教授



講師を囲んだ懇親会
16:30-17:00　理学部物理系講義棟3階ロビー

問合せ先：〒980-8578 東北大学大学院理学研究科物理学専攻
石原 照也(t-ishihara@m.tohoku.ac.jp)・佐々木勝一(ssasaki@nucl.phys.tohoku.ac.jp)
Webpage: http://www.phys.tohoku.ac.jp/butsurikagaku-saizensen/

21

22

学都仙台コンソーシアム

サテライトキャンパス公開講座2018後期

東北大学 9～12月 開講講座

受講無料

9月22日（土）10:30-12:00
2020東京オリパラ ボランティアに向けて

多元物質科学研究所　村松淳司教授

2020東京オリンピックパラリンピックのボランティア募集が始まる。大会ボランティアと都市（開催地）ボランティアの2種類があり、宮城県はどちらも募集対象となる。まず、スポーツボランティアと災害ボラや社協系ボラとの違いを理解した上で、上記2つのオリパラボランティアについて活動内容、活動場所などを説明する。ボランティア活動を通して何が得られるのか、また、何が期待できるか、全体を通して考えたい。（先着 80名）

10月13日（土）13:00-16:30
シネマを見ながら、“環境問題”を知る・考える

未来科学技術共同研究センター　原田秀樹教授

人生のなかでその時々に見てきた映画（シネマ）をナビゲーターとしながら、いろいろな環境問題の多層的な構造を紙芝居のように気楽に眺めながら、“環境問題とは何か”を易しく理解する仕掛けになっています。いま流行の”シネマ・コンサート”を楽しむ感覚で、いつのまにか「（池上彰的な）あぁ、そうだったのか！」と目からウロコ的に環境問題の本質を読み解くための“基礎体力”を涵養する大人の教養講座です。（先着 40名）

11月17日（土）10:30-12:00
マグロを科学する-生態から食品学的特徴に至るまで-

農学研究科　落合芳博教授

日本人が愛してやまない魚―マグロ。マグロは深海魚だった？その流線型のボディーに秘められた仕掛けとは？ 身の色が赤い理由とは？ 美しい刺身に仕上げる秘訣とは？ この謎だらけの魚について、最新の情報をお伝えします。どのような特性を持ち、どのように食卓まで届けられるのか。知識が深まれば、食卓での楽しみも一段と増すことでしょう。（先着 60名）

12月1日（土）10:30-12:00
ブラタモリ風 ぼうさいまち探検のススメ

災害科学国際研究所　佐藤健教授

自然災害は、地域ごとの自然条件と社会の脆弱性に大きな影響を受けます。教科書的に防災の一般論を学ぶだけでは不十分であり、地域のことは地域から学ぶ姿勢が重要です。そこで、ローカルな地域の自然と歴史を楽しく学び、その理解を防災につなげる一つの手法としての「ブラタモリ風ぼうさいまち探検」を、実践事例とともに紹介します。（先着 80名）

会場　仙台市市民活動サポートセンター
６階セミナーホール（仙台市青葉区一番町４-１-３）

申込方法　FAXまたはEメール（件名に「公開講座申し込み」と記入）に、
①応募内容　②〒・住所　③氏名（フリガナ）④TEL・FAX番号　をご記入のうえ、
開講日の１週間前までにお申し込みください。受講票を送付いたします。

申込・問合先　東北大学　教育・学生支援部教務課教育支援係
TEL：022-795-4933　FAX：022-795-7555
メール：gsc-sc@grp.tohoku.ac.jp

23

AOBAYAMA文明開化の道

青葉山・八木山フットパスの会は、竜の口峡谷で隔てられ、これまで一体的な活用が困難であった両岸に点在する地域資源をフットパスでつなぎ、新たな魅力を創出することを目的に活動しています。今回は、明治初期から三代にわたる隧道などが設けられた青葉山丘陵北麓の歴史を歩いて体感し、青葉山の文明開化を支えた技術・人を探ります。

2018.12.1 Sat 10:30-15:00

事前申込制
参加費 500円（保険代・資料代含む）
定員 40名（先着順）

レクチャー｜場所：たまきさんサロン（東北大学大学院環境科学研究科棟1F）

10:30-11:00　**三居沢発電所の歴史**
赤間勝己氏（元三居沢電気百年館職員）

11:00-11:30　**宮城県庁における草創期の建築技術者たち**
崎山俊雄氏（東北学院大学准教授）

たまきさんサロン　青葉山駅南1出口　南出口より徒歩3分

フィールドワーク｜たまきさんサロン発 ➡ 川内駅解散

11:30-15:00　たまきさんサロン発▶青葉の森（昼食）▶三居沢発電所▶川内駅解散

注意事項
・参加希望の方は、11月26日(月)までに問い合わせ先までお申し込みください。
・どなたでも参加できます。歩きやすい服装・靴でご参加ください。
・昼食は持参ください。
・雨天の場合も開催致します。長靴等、雨具の用意をお願いいたします。

問い合わせ
青葉山・八木山フットパスの会
事務局　（担当：内山）
TEL:070-5091-4896
E-mail:uchiyamatakahiro@hotmail.com
青葉山・八木山フットパスの会
公式ブログ
http://footpath980.blog.fc2.com

主催：青葉山・八木山フットパスの会　協力：八木山市民センター／片平市民センター
今回のフィールドワークは、平成30年度仙台市青葉区まちづくり活動助成事業の助成を受けて実施するものです。

24

東北大学サイエンスキャンパス体験型科学教室

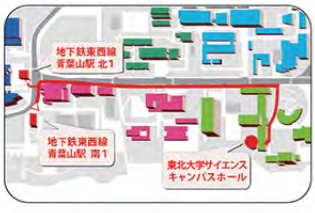
Sony Science Program
ソニー・サイエンスプログラム

光通信手作り実験

協力：ソニー株式会社

音の強弱を電気信号に変え、さらに信号を光の信号に変換して送信する送信機と、受信した光の信号を電気信号の強弱に変換しスピーカーを鳴らす受信機のセットを製作します。自分で作った基板に半田ごてで電子部品を装着する本格的な電子工作に取り組みます。送信機と受信機の位置関係を変えたり間に障害物を置いたりしたときの信号の伝わり方、さらに LED を赤外 LED に替えたり、レーザー LED に替えたりしたときの信号の伝わり方を確かめてみましょう。

日　時：　平成３０年１２月１日（土）　13:30 ～ 15:30
会　場：　東北大学工学研究科・工学部サイエンスキャンパスホール
仙台市青葉区荒巻字青葉６－６－０４
募　集：　小学５年生～中学３年生　２８名
参加費：　無料（傷害保険は大学で加入済み）
持ち物：　筆記用具、飲み物
アクセス：　地下鉄東西線「青葉山駅」徒歩７分
申込み：　１１月１日（木）～１１月１８日（日）
https://science-community.jp/
問い合わせ：　電話　022(795) 5047
mail tsc@grp.tohoku.ac.jp
備　考：　定員を超えた場合は抽選になります。



※東北大学サイエンスキャンパスは東北大学工学研究科・工学部サイエンスキャンパスの略称です。

TOHOKU UNIVERSITY
主催：東北大学工学研究科・工学部 創造工学センター
東北大学工学研究科・工学部 工学教育院
後援：宮城県教育委員会　仙台市教育委員会
協力：特定非営利活動法人 natural science

26

SMMA SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE 仙台・宮城ミュージアムアライアンス

SMMAクロスイベント　仙台市博物館　×　東北大学史料館
仙台市博物館 第37回市史講座・東北大学史料館 企画展公開講座

近代の風景
地図・古写真・公文書でみる仙台

〈開催日時〉2018年12月2日（日） 13:30～16:00（開場13:00）

〈開催場所〉東北大学　片平さくらホール

（定員156名・聴講無料・事前申し込み不要）

昭和2年頃の仙台市内、芭蕉の辻付近の風景（東北大学関係写真データベースより）

内容

講座1：蓮沼素子氏（大仙市総務部総務課アーカイブズ 主査）

「公文書から読み解く地域の記憶」（仮題）

講座2：佐藤正実氏（NPO法人20世紀アーカイブ仙台 副理事長・風の時編集部 代表）

「古地図と絵ハガキで見る100年前の仙台」（仮題）

関連イベント　片平キャンパス建物ツアー　「登録有形文化財」の建物や「魯迅の階段教室」をめぐります。

〈開催日時〉 2018年12月2日（日） 12:30～13:15　　定員40名（先着制）、直接集合場所にお越しください。

〈集合場所〉 東北大学 片平さくらホール 1階ロビー

仙台市博物館
〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地
〈Tel〉022-225-3074

東北大学史料館
〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
〈Mail〉desk-tua@grp.tohoku.ac.jp
〈Tel〉022-217-5040

SMMAウェブサイト
www.smma.jp

●片平さくらホールへのアクセス
・仙台市地下鉄東西線青葉通一番町駅（南1出口）、同南北線五橋駅（北2出口）より徒歩10分
・仙台駅西口バス乗り場11番より乗車、東北大正門前下車徒歩5分
※会場には駐車場がございませんので、上記公共交通機関をご利用ください。

27

INNOVATION FORUM in SENDAI 2018
イノベーションフォーラム

独創的オリジナリティーの創出から破壊的イノベーションに繋げる視野を如何にして掴むか
MITメディアラボ石井裕教授の基調講演によるメッセージを受け、起業家やアントレプレナー育成者、
学生等による討議を行い、東北から世界へイノベーションを起こすような独創的な起業家を輩出する
土壌を創るきっかけとなることを目的として開催します。

東北から、世界を変えろ。

12/4 TUE.,13:30~

@仙台市中小企業活性化センター　多目的ホール
（仙台市青葉区中央1-3-1 AER5F）
定員250名 … どなたでも参加いただけます。

ゲスト
マサチューセッツ工科大学(MIT)
メディアラボ副所長　教授
石井 裕 氏

内容
第一部　基調講演「(仮題)なぜ学ぶのか" ～未来のアントレプレナーへ向けて～」
MITメディアラボ副所長　石井 裕 教授
第二部　パネルディスカッション「未来のアントレプレナーに向けて」
コメンテーター：MITメディアラボ副所長　石井 裕 教授
第三部　ショートパネルディスカッション
「アントレプレナーシップ醸成のためにできることは何か」
パネリスト：EDGE-NEXTコンソーシアム関係者、起業支援機関

○主催：EARTH on EDGE（東北大学EDGE-NEXTコンソーシアム）、仙台市　○共催：イノベーション教育学会
本イベントは文部科学省「平成30年度次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）」により実施するものです。

お問い合わせ
「仙台でイノベーションを考える3日間」事務局（東北大学）
ウェブサイト　http:// edge-next.eng.tohoku.ac.jp/
TEL：022-795-5281　E-mail：innovation3days@grp.tohoku.ac.jp
facebook：https://www.facebook.com/earthonedge2017/

28

イノベーション
革新を、その手に。

業績を伸ばす起爆剤がほしい。
革新的なビジネスモデルをつくりたい。
新事業を始めたいが、良いアイデアが思いつかない。
そんな悩みをお持ちの経営者の方に、お勧めしたいセミナーがあります。

「経営者のためのイノベーションの教室」 ― 。

地域を担う経営者や後継者を数多く輩出してきた「地域イノベーションプロデューサー塾」
を手掛ける東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センターと、
創業企業やベンチャー企業を長年支援してきた日本政策金融公庫、
経営指導・専門家対応支援など経営者の皆さまを支援する中核組織である仙台商工会議所
が主催するセミナーです。

経営者のための
イノベーションの教室

参加無料
定員50名

平成30年
12/4 火
18:30～20:20

場所　東北大学片平キャンパス
仙台市青葉区片平2-1-1
エクステンション教育研究棟6階 講義室A

申込方法　裏面をご記入のうえFAXいただくか、URLまたは2次元コードから11月30日（金）までにお申し込みください。

https://krs.bz/jfc_seminar/m/sendaiaiichi301204innovation

プログラム

18:30～20:00　講演「中小企業の経営戦略と事業イノベーションの考え方」
東北大学　地域イノベーション研究センター長
藤本　雅彦

地域の中小企業が成長するためには事業イノベーションによる経営戦略とその実践が不可欠です。しかし、一般的な教科書などでそれらを抽象的に理解することは容易ではありません。そこで、本セミナーでは、具体的で身近な事例から中小企業の経営戦略と事業イノベーションの考え方を分かり易く解説します。

20:00～20:20　日本政策金融公庫からのご案内
日本政策金融公庫　仙台支店
国民生活第一事業　融資第二課長
小出　直人

TOHOKU UNIVERSITY　日本政策金融公庫　仙台商工会議所

主催：日本政策金融公庫 仙台支店
東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター
仙台商工会議所
お問い合わせ先 ｜ 日本政策金融公庫仙台支店 国民生活第一事業
TEL 022-222-5173(担当：小出、山田)

29

COI東北拠点シンポジウム　COI TOHOKU

人生100年時代の健康戦略
「旅」が生み出すヘルスケアの進化系

趣旨　迫り来る人生100年時代。これまでになかった長寿をどう生きていくかが人生の大きな課題となってきています。独居世帯の急増などによる社会問題も増えていく中、本シンポジウムでは、「旅」が生み出すヘルスケアの進化系として、未来の「旅」の新しいかたち、そして、そこで求められるソリューションについて提言を行い、企業の視点、大学の視点、地方自治体の視点、それぞれから議論を深めることで、人生100年時代の健康戦略を考えます。

日時　平成30年 12/5(水) 13:00～17:00 【12:00開場、受付開始】

定員　先着200名 ◎どなたでも参加できます。　お申込みはHPから　COI東北 検索　http://www.coi.tohoku.ac.jp

会場　日本橋コレド室町3 ｜ 室町ちばぎん三井ビルディング8階 日本橋ライフサイエンスハブ 会議室
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5

案内図

プログラム

13:00 ― 主催者等挨拶　東北大学 理事 矢島 敬雅　株式会社JTB 常務執行役員 古野 浩樹

来賓挨拶　文部科学省 科学技術・学術政策局 （調整中）
国立研究開発法人科学技術振興機構 ビジョン1 ビジョナリーリーダー 松田 譲

― 13:10

基調報告①
COI東北拠点が巻き起こす「旅」と「暮らし」のパラダイム・シフト
COI東北拠点 拠点長/プロジェクト統括(PL) NECソリューションイノベータ㈱プロフェッショナルフェロー 和賀 巌

13:20 ― 基調講演
JTBの取り組むヘルスケア・ソリューションと未来の「旅」のかたち
株式会社JTB 兼 一般財団法人 日本健康開発財団 ヘルスツーリズム研究所長 高橋 伸佳

― 14:05

パネルディスカッション
人生100年時代の「旅」と健康
情報提供
①地域医療・介護連携の現状と課題：「旅」の効用とCOI東北拠点への期待
COI統括VL補佐、名古屋大学 総長補佐 水野 正明
情報提供
②地方自治体の取組み事例の紹介(ヘルスツーリズム&地域活性化)
山形県上山市クアオルト推進室長 佐々木 慶
情報提供
③人も自然もワクワク湧く湧くするネットワーク社会
東北大学流体科学研究所 助教 鈴木 杏奈
パネラー
水野 正明・佐々木 慶・高橋 伸佳・末永 智一・鈴木 杏奈
モデレータ
和賀 巌

14:30 ― 基調報告②
「旅」を通じて健康になるためのデバイス・サービス・インタラクション
COI東北拠点 副拠点長/研究統括(RL) 東北大学大学院環境科学研究科 教授 末永 智一

14:50 ― 休憩

― 15:05

16:50 ― 閉会の挨拶　研究統括(RL) 末永 智一

17:15 ― 交流会（会費：4,000円）
※別途、参加お申込みください。※会費は、当日受付で清算いたします。

【主催】国立大学法人 東北大学
革新的イノベーション研究プロジェクト
【共催】株式会社JTB

【お問い合わせ】 東北大学 イノベーション戦略推進センター 事務支援室　E-mail promo-innov-koho@grp.tohoku.ac.jp

30

東北大学知のフォーラム 5周年記念特別講演会

研究成果を社会に実装可能なものとする思考軸と教養

～ 人文科学・社会科学研究の観点から ～

人文科学・社会科学の研究分野では、産学が連携した学際的な研究の推進、並びに研究成果の社会実装が特に重要な課題となっております。本講演会では、大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学(APU)学長の出口治明氏をお迎えし、人文科学・社会科学の若手研究者を対象に、研究成果を社会に実装可能なものにし、日本の課題解決に寄与するために必要な思考軸と教養について話題提供いただきます。さらに、討論の場では、社会で働くために必要なリーダーシップやマネジメント力についてもお話しいただきます。

講師 **出口 治明** 氏　*Haruaki Deguchi*

立命館アジア太平洋大学(APU)学長、学校法人立命館副総長・理事。1972年京都大学法学部卒。日本生命保険相互会社に入社、ロンドン現地法人社長、国際業務部長などを歴任した後、東京大学総長室アドバイザーや早稲田大学大学院講師を経て、2008年にライフネット生命保険株式会社を開業。社長・会長を10年務める。2018年1月より、国際公募で選ばれ現職。主な著書は『全世界史(上・下)』(2018)や『人生を面白くする本物の教養』(2015)等、多数。

2018年12月7日(金) 16:30-18:00 (開場16:00)

会場：東北大学 川内南キャンパス 文科系総合講義棟 ２０４講義室

お申し込み方法

参加費無料　WEBサイトの申込フォームに、氏名・職業・連絡先メールアドレスをご記入の上お申込みください。
お電話またはファックスでのお申込みの際は、電話番号をお知らせください。

URL www.tfc.tohoku.ac.jp/5th-anniv/deguchi/　TEL 022-217-6095　FAX 022-217-6097

会場へのアクセス

東北大学 川内南キャンパス 文科系総合講義棟
〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

＜仙台市地下鉄東西線　最寄駅＞
- 川内駅（キャンパス直結）徒２口より徒歩 約５分
- 国際センター駅　　西１口より徒歩 約５分

【注意】キャンパス内に駐車場はございません。
優先りの公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。

アクセスURL: www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/access/

■ 主　　催：東北大学研究推進・支援機構知の創出センター　東北大学文系４研究科(文学研究科・教育学研究科・法学研究科・経済学研究科)
東北大学文系 URA
■ お問い合わせ：東北大学知の創出センター事務室　TEL：022-217-6095　FAX：022-217-6097　Email：specialseminar1207@m3.tohoku.ac.jp

31

Dual Career Couple 共働き

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）
第15回 東北大学男女共同参画シンポジウム

今と未来の「共働き」を考える

平成30年
12/8土
13:00～17:00

会場 翠生ホール（青葉山コモンズ2階）

入場無料 ※一般の方もぜひご来場ください。

13:00 開会挨拶／総長 大野 英男
来賓挨拶／お茶の水女子大学学長 室伏 きみ子氏

13:10 第1部:澤柳記念賞授賞式・受賞講演

14:20 第2部:特別講演
民間企業の研究者から東京都議会議員へ
～自分なりの社会貢献を模索して～
東京都議会議員 福島りえこ氏

15:25 第3部:パネルディスカッション
未来の「共働き」を若い人はどのように描いているのか？ 結婚・仕事・家族への夢や不安、現状の壁を破る発想や、今の大人がなすべきことを語り合う。

特定非営利活動法人 ファザーリングジャパン東北 代表理事 横田 智史氏
東北大学 流体科学研究所 教授 伊賀 由佳氏
東北大学大学院 理学研究科修士2年 森 真依子氏
東北大学 経済学部4年 伊佐治 祐太氏

◉コーディネーター／山内 正憲　医学系研究科教授　麻酔科学・周術期医学分野 男女共同参画委員会委員

16:50 閉会挨拶／大隅 典子 副学長(広報・共同参画担当) 男女共同参画委員会委員長

17:00 茶話会 ※事前申込制。会費1,000円。11月27日(火)まで下記メールアドレスにお申し込みください。

無料託児所あり(事前申込制)
対象：生後5ヶ月～就学前
※11月27日(火)まで下記メールアドレスにお申し込みください。

【サテライトシンポジウム】
第2回 女性研究者シンポジウム
～女性研究者が拓く有機化学の未来～
場所：薬学研究科・大講義室
主催：薬学研究科
http://www.pharm.tohoku.ac.jp/info/file/20180731.pdf

地下鉄仙台駅から地下鉄東西線「八木山動物公園行」に乗車し、「青葉山駅」下車後、南1出口より南へ進み、通りに出たら右折し、徒歩3分

TOHOKU university

主催 男女共同参画委員会
連絡先 総務企画部総務課
TEL:022-217-4811 Mail:danjyo@grp.tohoku.ac.jp
http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/index3.html

※開催の様子をカメラなどで撮影し東北大学においてホームページなどの広報用に使用する場合がありますのでご了承ください。

32

たまきさんサロン サロン講座

地層から読み解く仙台の大地の歴史

講師：東北大学総合学術博物館　高嶋礼詩　准教授

写真：白沢の広瀬川からみた白沢層 [700万年前のカルデラ湖の地層]

地層に記録された大地の歴史から、このような疑問を解き明かします。
後半は、東北大学理学部自然史標本館で解説付きの見学もあります。

2018年12月9日(日) 13:30～15:30

定　　員：40名(小学5年生以上、小学生以下は保護者同伴)
申込締切：11月27日(火) ※抽選後、当選者のみにご連絡
会　　場：せんだい環境学習館たまきさんサロン(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)
※東北大学理学部自然史標本館での解散となります

お申し込み方法

メールまたはハガキ、FAXに必要事項(講座名・参加者氏名・年齢・住所・電話番号)をご記入の上、お申し込みください。

←サロン講座は毎月開催中です！詳しくはホームページをご覧ください。

お申し込み・お問い合わせ先
せんだい環境学習館たまきさんサロン

〒980-0845　仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
東北大学青葉山新キャンパス内
東北大学大学院環境科学研究科本館(J22) 1階
平　日：10：00-20：30　土日祝：10：00-17：00
休館日：月曜(月曜が休日の場合はその翌日)
祝日の翌日、年末年始
TEL：022-214-1233　FAX：022-393-5038
メール：tamaki3salon@city.sendai.jp
ホームページ：https://www.tamaki3.jp/

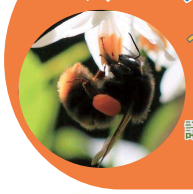
地下鉄東西線「青葉山駅」南1出口より右手(農学部方面)に徒歩3分

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます

35

せんだい環境学習館
たまきさんサロン サロン講座

マルハナバチって、どんなハチ？



～カードゲームとお話で楽しむ、ハナバチと花の世界～

講師：東北大学生命科学研究科　学振特別研究員RPD
小林知里　氏・大野ゆかり　氏

マルハナバチの生態や花との関わりについてのお話の後、マルハナバチと花の関係について学べるカードゲーム“まる花札”で遊びます。

日時：12月22日(土)13時30分～15時00分
申込締切：12月11日(火) ※抽選後、当選者にのみご連絡

定員：20人 (小学3年生以上、小学生以下は保護者同伴)

会場：せんだい環境学習館　たまきさんサロン
(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)

お申し込み方法

メールまたはハガキ、FAXに必要事項(講座名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号)をご記入の上、下記までお申し込みください。

←サロン講座は毎月開催中です！詳しくはホームページをご覧ください。

お申し込み・お問い合わせ先 せんだい環境学習館 **たまきさんサロン**

〒980-0845
仙台市青葉区荒巻字青葉468-1　東北大学青葉山新キャンパス内
東北大学大学院環境科学研究科本館(J22) 1階
平　日:10:00-20:30　土日祝:10:00-17:00
休館日:月曜(月曜が休日の場合は、その翌日)
祝日の翌日、年末年始
TEL:022-214-1233　FAX:022-393-5038
メール:tamaki3salon@city.sendai.jp
ホームページ:https://www.tamaki3.jp

地下鉄東西線「青葉山駅」南1出口より右手(農学部方面)に徒歩3分

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます

34

東北大学 SDGs シンポジウム

持続可能な開発目標（SDGs）の達成とグローバル人材

持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、グローバル人材の育成という観点から、日本として、政府として、あるいは大学、地域、企業、市民として何ができるか、とりわけ、東日本大震災など災害の経験も踏まえ、世界にどのような発信ができるか、産学官地域のそれぞれの立場から議論します。

基調講演

- 国谷　裕子　キャスター、東京藝術大学理事 / 慶応義塾大学特任教授
- 今村　文彦　東北大学災害科学国際研究所所長・教授
- 末吉 竹二郎　国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）特別顧問、公益財団法人自然エネルギー財団副理事長
- 政府関係者　調整中

パネルディスカッション

- 須藤　勝義　国際協力機構（JICA 東北）所長
- 渥美　巌　宮城県東松島市長
- 辰野 まどか　一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト（GIFT）代表理事
- 藤井　史朗　MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社取締役副社長執行役員 グループ CFO
- 劉　庭秀　東北大学大学院国際文化研究科教授

2018 年 12/21 金
13:00～17:30（受付開始 12:30）
参加無料・定員 700 名

仙台国際センター・桜
仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」徒歩 1 分

主催：東北大学 , 東北大学大学院国際文化研究科
共催：MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社 , 東北大学災害科学国際研究所
後援：外務省 , 環境省 , 宮城県 , 仙台市 , 東松島市 , 国際協力機構 , 河北新報 , MS&AD インターリスク総研

持続可能な開発目標（SDGs）とは？

2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に基づく、2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むものであり、日本の政府や企業も積極的に取り組んでいます。

プログラム

主催者挨拶

- 大野　英男　東北大学総長

基調講演

- 国谷　裕子　キャスター、東京藝術大学理事 / 慶応義塾大学特任教授
- 今村　文彦　東北大学災害科学国際研究所所長・教授
- 末吉 竹二郎　国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）特別顧問、公益財団法人自然エネルギー財団副理事長
- 政府関係者　調整中

パネルディスカッション

- 須藤　勝義　国際協力機構（JICA 東北）所長
- 渥美　巌　宮城県東松島市長
- 辰野 まどか　一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト（GIFT）代表理事
- 藤井　史朗　MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社取締役副社長執行役員 グループ CFO
- 劉　庭秀　東北大学大学院国際文化研究科教授

閉会の挨拶

- 小野　尚之　東北大学大学院国際文化研究科長・教授

※ 講演者・講演内容・スケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

本シンポジウムについて

東北大学大学院国際文化研究科では、持続可能な開発に向けた人材育成や知の創出に資するため、2019 年度より、新たに「グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム（G2SD）」を開講するとともに、MS&AD インシュアランス グループホールディングス株式会社より寄付金を受け、寄付講義の開講を予定しています。本シンポジウムは、これを記念して開催するものです。

G2SD Graduate Program in Global Governance & Sustainable Development

グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム（G2SD）は、東北大学大学院国際文化研究科が提供する新しい学際プログラムです。グローバルガバナンスと持続可能な開発という相互に連関した人類の共通課題に立ち向かう能力を、批判的な理論検証と問題解決型の研究を通じて育成します。

http://www.intcul.tohoku.ac.jp/g2sd

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための 17 の目標

国谷　裕子　くにや ひろこ
キャスター、東京藝術大学理事 / 慶応義塾大学特任教授
米ブラウン大学卒。NHK 衛星放送「ワールドニュース」のキャスターを経て、1993 年から 2016 年までNHK「クローズアップ現代」キャスター。現在、SDGｓの取材・啓発活動を行なっている。自然エネルギー財団理事、国連食糧農業機関親善大使も務めている。02 年菊池寛賞、11 年日本記者クラブ賞受賞。著書に「キャスターという仕事」（岩波新書）。

今村　文彦　いまむら ふみひこ
東北大学災害科学国際研究所所長・教授
東北大学大学院博士後期課程修了。同大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授、同教授を経て、2014 年より現職。専門は津波工学・自然災害科学で、津波被害の軽減を目指し、津波予警報システムの開発や太平洋での防災対策等の研究を数多く実施。津波数値技術移転国際プロジェクト TIME の代表、中央防災会議専門調査会委員、東日本大震災復興構想会議検討部会等、主な受賞は、NHK 放送文化賞（平成 26 年）、文部科学大臣表彰（科学技術振興部門、平成 27 年）。

末吉　竹二郎　すえよし たけじろう
国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）特別顧問、公益財団法人自然エネルギー財団副理事長
長年の金融界での経験をバックに「金融と地球環境問題」をテーマに、金融のあり方や CSR 経営などについて、講演、講義、著書などで啓もうに努める。

須藤　勝義
国際協力機構（JICA 東北）所長

渥美　巌
宮城県東松島市長

辰野　まどか
一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト（GIFT）代表理事

藤井　史朗
MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社 取締役 副社長執行役員 グループ CFO

劉　庭秀
東北大学大学院 国際文化研究科教授

参加お申込み

以下の URL からお申し込み下さい。
http://www.intcul.tohoku.ac.jp/g2sd/2018sdgs

※ 定員に達し次第、お申込みを締め切らせて頂きます。

シンポジウム事務局
〒604-8141 京都市中京区泉正寺町 334
日昇ビル 5 階 CS センター内
TEL: 075-241-9620、FAX: 075-241-9692

GSICS TOHOKU UNIVERSITY

FSC ミックス 責任ある木材資源を使用した製品 FSC® C012161

37

生き残ってきた“在来作物”と未来に残す“種”のおはなし
～ちょっぴりお味見～

■開催日時
1月19日（日）13時30分～15時30分
■講師
野菜ソムリエプロ　フードコーディネーター　カワシマヨウコ氏
■講座概要
土地や気候変動に合わせ変化しながら生き残った“在来作物”の種を採り守る人がいます。
そこでしか味わえない野菜“在来作物”を未来に残す大切さを学びます。
■募集人数／対象
36名（小学生以下は保護者同伴）
※抽選（当選者にのみ1/12までご連絡）
■申込締切
1月8日（火）
■会場
たまきさんサロン
（東北大学青葉山新キャンパス環境科学研究科本館）
■お申し込み方法
メールまたはハガキ、FAXでお申し込みください
必要事項：講座名、参加者氏名、年齢、住所、電話番号
■問い合わせ・申し込み先
せんだい環境学習館たまきさんサロン
〒980-0845　仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
メール：tamaki3salon@city.sendai.jp
電話　022-214-1233　FAX　022-393-5038

東北大学アンテナ

東北大学の先生の話がここでも！

ON AIR

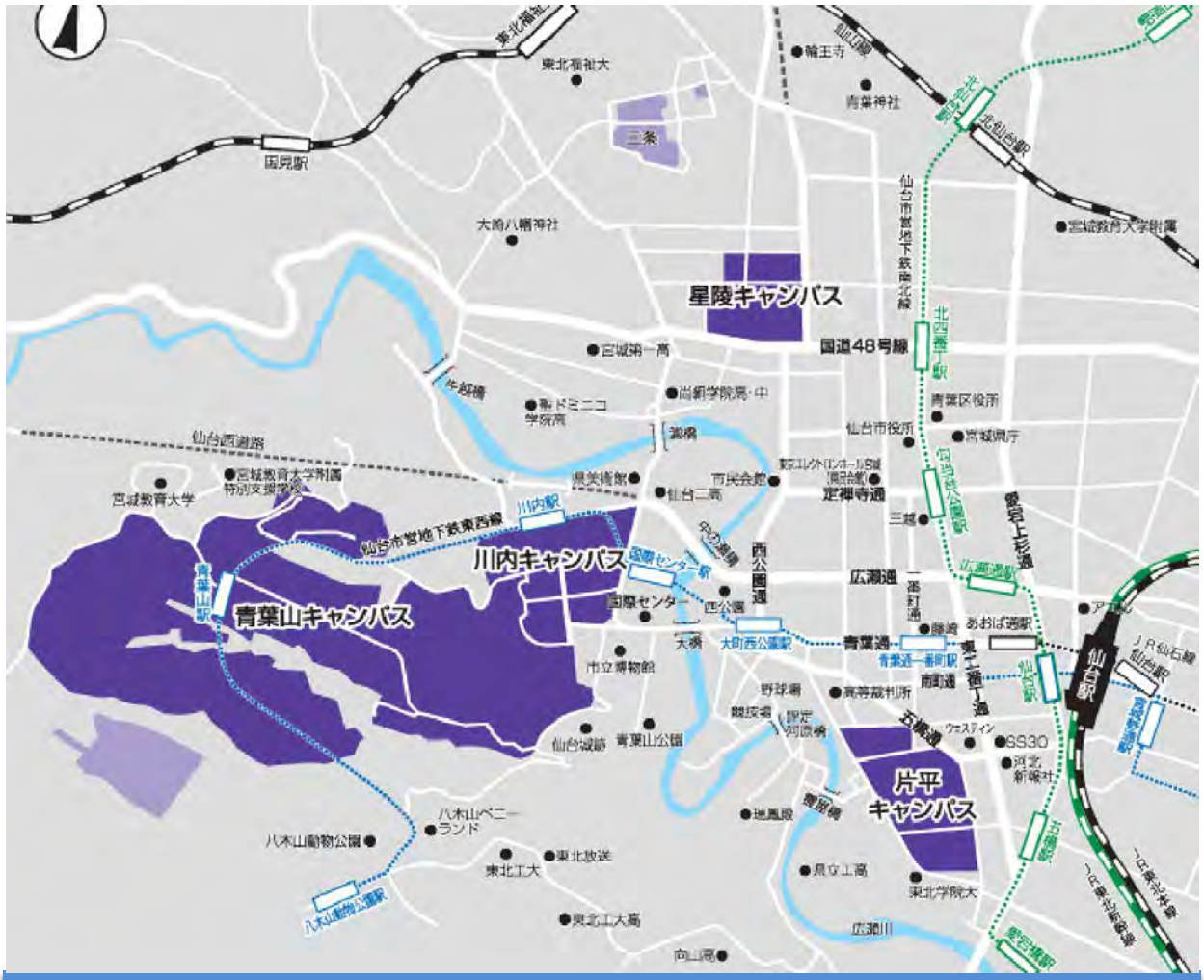
曜日	番組内容
日	毎日新聞・日曜 **脳を鍛えたい／脳トレ川柳** 川島隆太教授（加齢医学研究所）
日	Datefmエフエム仙台 **SUNDAY MORNING WAVE**（8:25-8:55） **『地震に自信を』『東北大学防災UPDATES!』** 今村文彦教授（災害科学国際研究所） **forever green radio**（9:30-9:55） 陶山 佳久准教授（農学研究科）
第２・４水	読売新聞（地方） **東北大医学部教授リレーコラム 星陵の学びやから** 医学系研究科教授など
木	河北新報（夕刊）木曜 **川島＆滝のスマート・エイジング** 川島隆太教授・滝靖之教授（加齢医学研究所）
土	河北新報　土曜 **東北大30の挑戦―社会にインパクトのある研究―**
第１・３金	河北新報（くらし面） **気になる症状すっきり診断** **東北大病院専門ドクターに聞く**
日月 水金	J:COM（ケーブルテレビ） 日 18:00- 月 19:00- 水 22:00- 金 19:00- **サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン**
随時	読売新聞ONLINE **東北大病院100年** http://www.yomiuri.co.jp/local/miyagi/feature/CO017751/
随時	河北新報 **リレーエッセー 医進伝心**（アーカイブ） http://www.megabank.tohoku.ac.jp/tommo/community/ishin

東北大学一般公開施設一覧

キャンパス	施設名	開館時間	休館日	問合せ・その他
片平	**魯迅の階段教室 (旧仙台医学専門学校六号教室)**	10:00～16:00	土・日・祝日、 6/22、 夏季休業日、 年末年始	総務企画部 社会連携課 022-217-6090 ※１週間前までに要予約。 学術目的でのみ公開
片平	**東北大学史料館**	10:00～17:00 ※12:00～13:00は 閲覧室休み	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	東北大学史料館 022-217-5040 無料
片平	**本多記念室 ・資料展示室**	9:00～16:30	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	金属材料研究所 情報企画室広報班 022-215-2144 無料 ※案内希望の場合10日前までに連絡
片平	**エクステンション 教育研究棟 １F広報展示スペース**	8:30～17:15	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	総務企画部社会連携課 022-217-4816 無料
川内	**東北大学植物園**	9:00～17:00 (春分の日-11/30)	月曜定休 （月曜祝日の場合 祝日明け）	東北大学植物園 022-795-6760 大人：230円 小中学生：110円 **※萩友会プレミアム会員は入園無料** ※団体料金、年間パスポート等あり。
川内	**西澤記念資料室**	9:00～16:00	土・日・祝日	教育・学生支援部 入試課 022-795-4804 無料
川内	**東北大学百周年記念会館 (川内萩ホール)展示ギャラリー ※改修工事のため2019/5/21 まで全館閉館**	9:30～17:00	火、年末年始	川内萩ホール 022-795-3391 無料
青葉山	**自動車の過去・未来館**	8:00～20:00	年中無休	機械系広報推進室 022-795-4043 無料
青葉山	**東北大学理学部 自然史標本館 (総合学術博物館)**	10:00～16:00	月曜定休 （月曜祝日の場合 祝日明け）	東北大学総合学術博物館 022-795-6767 （個人）大人：150円 小中学生：80円 **※萩友会プレミアム会員は入館無料** ※団体料金(20名以上)あり
青葉山	**東北大学大学院薬学研究科 ・薬学部 附属薬用植物園**	9:00～17:00	土・日・祝日	附属薬用植物園 022-795-6799 無料 ※園内の案内や解説は事前連絡
青葉山	**分散コンピュータ博物館 (サイバーサイエンス センター展示室)**	9:00～17:00	土・日・祝日	サイバーサイエンスセンター 022-795-3406 無料 ※説明、10名以上の見学時は要事前連絡
青葉山	**せんだい環境学習館 たまきさんサロン (環境科学研究科1階)**	平日 10:00～20:30 土日祝 10:00～17:00	月曜(月曜が休日の場合その翌日)、祝日の翌日、年末年始	せんだい環境学習館 たまきさんサロン 022-214-1233 無料
その他	**阿部次郎記念館**	10:00～16:00	日、月、水、金 祝日、月末日、 12/28-1/4	阿部次郎記念館 青葉区米ヶ袋3丁目4-29 022-267-3284 無料

キャンパスマップ

各キャンパスまでは、下記の地図を参照の上ご来場ください。



■ **片平キャンパス**

（地下鉄）

五橋駅（仙台市地下鉄南北線）　北 2 口から徒歩約 10 分

青葉通一番町駅（仙台市地下鉄東西線）　南 1 口から徒歩約 10 分

（バス）

仙台市営バス仙台駅前 11 番乗り場から「(東北大学病院前－八木山動物公園駅)八木山動物公園駅行」か「(東北大学病院前－緑ヶ丘三丁目)緑ヶ丘三丁目行」か「(東北大学病院前－西高校入口)西高校入口行」で約 5 分

東北大学正門前下車

【片平】

■ **川内キャンパス**

（地下鉄） 川内駅（仙台市地下鉄東西線）　キャンパス直結

国際センター駅（仙台市地下鉄東西線）　西 1 口より徒歩約 5 分

【川内】

■ **青葉山キャンパス**

（地下鉄） 青葉山駅（仙台市地下鉄東西線）　キャンパス直結

【青葉山】

■ **星陵キャンパス**

（地下鉄）

北四番丁駅（仙台市地下鉄南北線）　北 2 口より徒歩約 15 分

（バス）

仙台市営バス仙台駅前 9 番乗り場「北山・子平町循環」

10 番、15-1,15-2 番乗り場　東北大学病院経由　東北大学病院前 下車

13 番、14 番のりば　東北大学病院経由か北山トンネル・中山経由か山手町・中山経由 東北大学病院前下車か歯学部・東北会病院前下車

60 番乗り場　交通局東北大学病院前行　交通局東北大学病院前下車　いずれも所要時間 20 分

【星陵】

「まなぶひと」のおもな配架場所

【片平キャンパス】北門会館(エントランス・萩友会ラウンジ)、北門守衛室、エクステンション教育研究棟、本部棟エントランス、史料館　【川内キャンパス】川内萩ホール、附属図書館本館、川内厚生会館　【青葉山キャンパス】総合学術博物館、工学部購買部　【星陵キャンパス】東北大学病院　【その他】国際センター駅、せんだいメディアテーク フリーペーパーコーナー、仙台市市民活動サポートセンター、市民センター（一部）

TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学まなび情報誌 まなぶひと 2018.12 月号(Vol.45) 2018 年 11 月 15 日発行（毎月 15/30 日発行）
編集・発行：東北大学総務企画部社会連携課社会連携推進係
連絡先：〒980-8577　仙台市青葉区片平２丁目１－１
Tel：022-217-5132　E-mail：social@grp.tohoku.ac.jp
【イベント情報・広告を載せませんか？詳しくは左記までお問い合わせください。】